Panasonic®

取扱説明書
（スキャナー/E メール編）
フルカラーデジタル複合機

品番 DP-C262/C262F
DP-C322/C322F

WORKIO™

このたびは、パナソニック フルカラーデジタル複合機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
■特に『取扱説明書（基本編）』の「安全上のご注意」は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、大切に保管し、必要なときにお読みください。

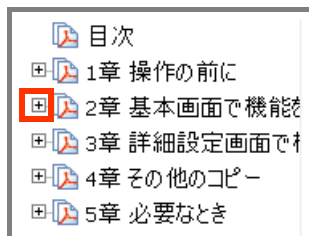
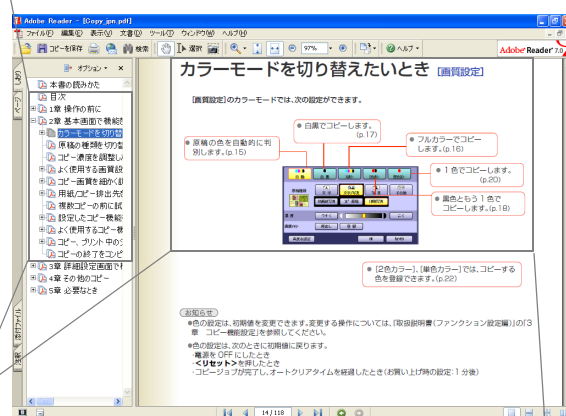
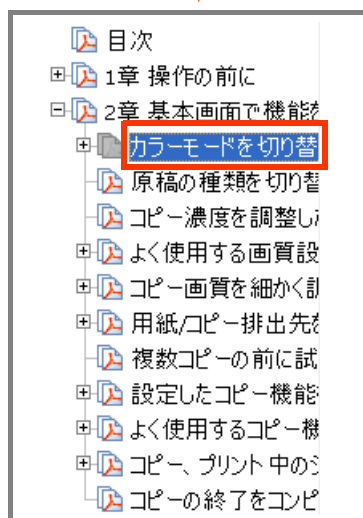
● イラストはオプションを装着した例です。詳しくは、『取扱説明書（基本編）』を参照してください。

上手に使って上手に節電

本書の読みかた

ここでは、PDF のしおりの使いかた、参照ページの表示方法、本書の表記について説明します。

❑ しおりの使いかた

[+]をクリックすると、下の階層が表示されます。

タイトルをクリックすると、該当するページが表示されます。

❑ 参照ページの表示方法

ページ番号をクリックすると、該当するページが表示されます。

(上記画面の内容は、実際の取扱説明書と異なる場合があります。)

❑ 本書の表記について

● 本書では、本機の操作パネルの各キー、タッチパネルディスプレイ上のボタン、コンピューター画面上のボタンなどについて、下記のように表記しています。

< >	操作パネルの各キー(例:スタートキー→**<スタート>**)
[ ]	タッチパネルディスプレイ上の各ボタン、コンピューター画面上のボタンなど(例:基本ボタン→[基本])

● 本機のタッチパネルディスプレイ上のカタカナ文字は、半角と全角が一部混在していますが、本書では、説明文はすべて全角に統一して表記しています。

目次

1 章　操作の前に

2 章　送信先 / 保存先を設定する

3章　読み取りの設定をする

4章　アドレス帳を編集する

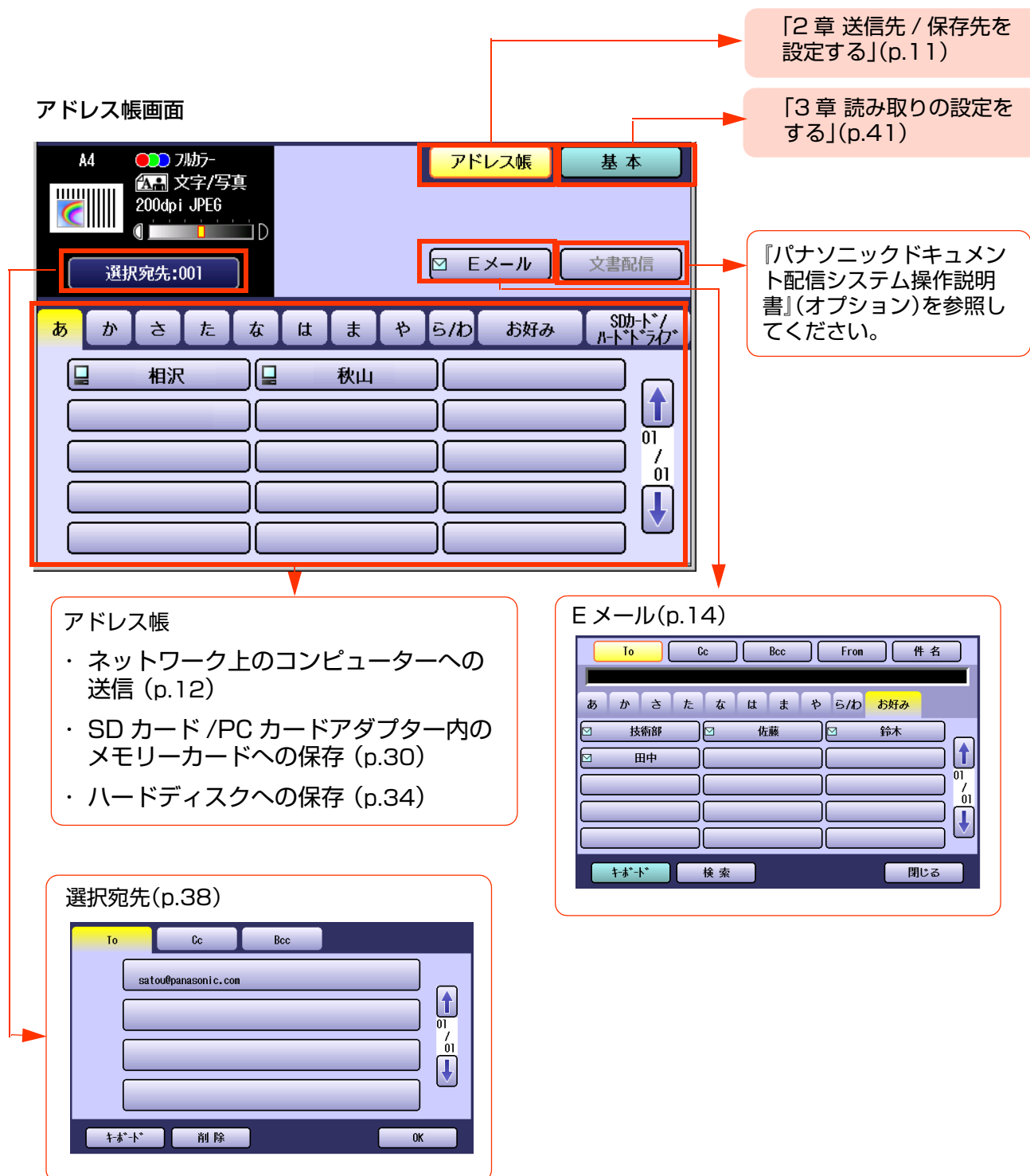
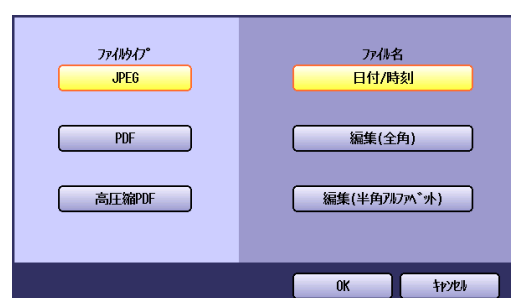
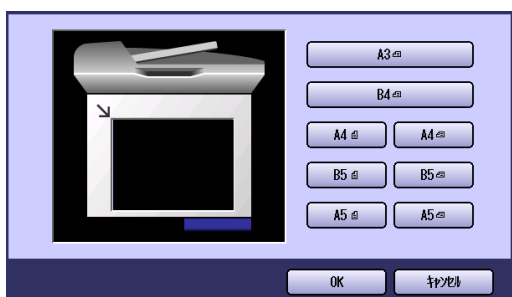
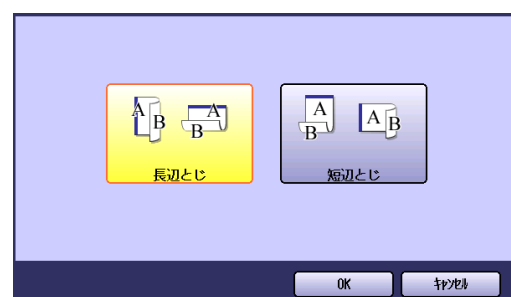
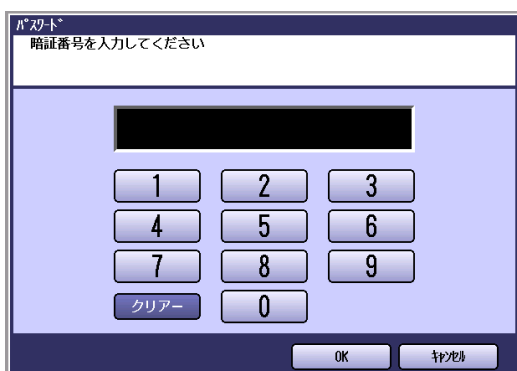
1 章
操作の前に

この章では、スキャナー/E メール機能のメニューマップと基本的な操作について説明しています。

● 本機をご使用になるときは、次のオプション装置が必要となります。
  ・ネットワークスキャナー/E メールユニット(DA-NS321)
  ・ハードディスクユニット(DA-HD32)
  ・メインメモリー(DA-EMN56)
  ・ページメモリー(DA-PMN56)

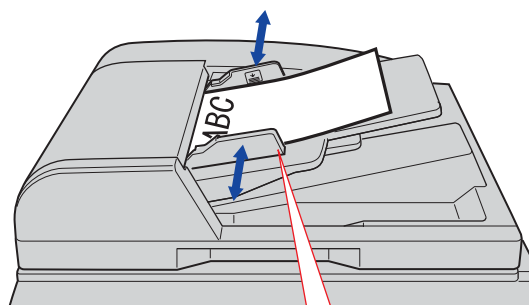
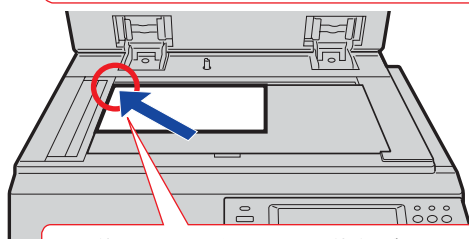
● ファクス標準タイプ(DP-C322F/DP-C262F)には、ハードディスクユニットとメインメモリーが標準装備されています。

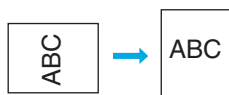
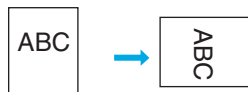
メニューマップ

スキャナー/E メール機能の画面に表示されるメニューと本書の参照先は次のとおりです。

基本画面

暗証番号入力画面

部門カウンター管理が設定されていると、左の画面が表示されます。部門の暗証番号を入力してください。部門の暗証番号については、本機の管理者にお問い合わせください。

基本的なスキャナー/E メール操作

ここでは、基本的なスキャナー/E メール操作について説明します。各項目の詳しい操作については、それぞれの参照先をご覧ください。

1. 原稿をセットする

- スキャナー/Eメールでは、自動的に90度回転してイメージが作成されるので、原稿の上辺を左にセットすると、正立のスキャンデータが作成されます。

原稿の向き　スキャンデータの向き

- 原稿のセットについての詳細は、『取扱説明書(基本編)』の「原稿セットのしかた(コピー、スキャナー/E メールのとき)」を参照してください。

2. <スキャナー/E メール>を押す

3. 読み取ったデータの送信先、または保存先を選択する

❑ ネットワーク上のコンピューターへ送信

① アドレス帳からコンピューターを選択する(A)

- 「ネットワーク上のコンピューターへ直接送信する」(p.12)を参照してください。

❑E メールで送信

① [E メール]を押す(B)

② 次のいずれかの方法で送信先を設定する

・アドレス帳から選択する

・E メールアドレスを直接入力する

・ネットワーク上の E メールアドレスを検索 する

- 最大 220 か所まで、送信先を設定できます。(アドレス帳からの選択:200か所、直接入力・ネットワーク上の E メールアドレス検索:20 か所)
- 「E メールで送信する」(p.14)を参照してください。

❑SD カード/PC カードアダプター内のメモリーカードに保存

① SD カード/PC カードアダプター(メモリーカード装着済み)を本体にセットする

② [SD カード / ハードドライブ]を押す(C)

③ [SD カード]/[PC カード]を選択する

- 「SD カード /PC カードアダプター内のメモリーカードに保存する」(p.30)を参照してください。

❑ ハードディスクに保存

① [SD カード / ハードドライブ]を押す(C)

② 保存先のイメージボックスを選択する

- 「ハードディスクに保存する」(p.34)を参照してください。

4. 必要に応じて、読み取りの設定をする

① [基本]を押す

- E メールで送信するとき以外は、送信先、または保存先を設定すると、数秒後に自動で②の画面が表示されます。

② 読み取りの設定をする

- 原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、[原稿サイズ]を押し、原稿サイズを設定してください。(p.56)
- お買い上げ時の設定は、次のとおりです。
  ·カラーモード:フルカラー
  ·原稿種類:文字 / 写真原稿
  ·解像度:200dpi
  ·ファイルタイプ:JPEG
- 詳しい操作については、「3 章 読み取りの設定をする」(p.41)を参照してください。

5. <スタート>を押す

❑ ネットワーク上のコンピューターへ直接送信したとき

コンピューターに、読み取ったデータを受信したことを通知するメッセージボックスが表示されます。

❑E メールで送信したとき

設定した E メールアドレスに送信されます。

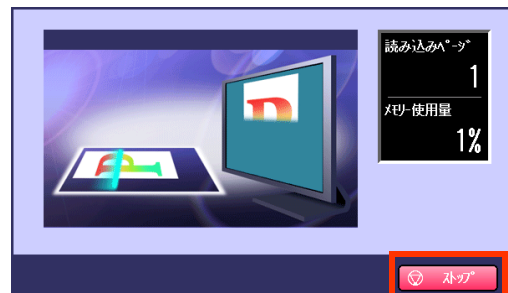
- 読み取ったデータのサイズがご利用のネットワーク環境の制限を超える場合は、メール送信できないときがあります。データサイズの制限については、事前にシステム管理者へご相談ください。

❑SDカード/PCカードアダプター内のメモリーカードに保存したとき

読み取ったデータの保存が終了したら、SD カード /PC カードアダプターを本体から取り出してください。

❑ ハードディスクに保存したとき

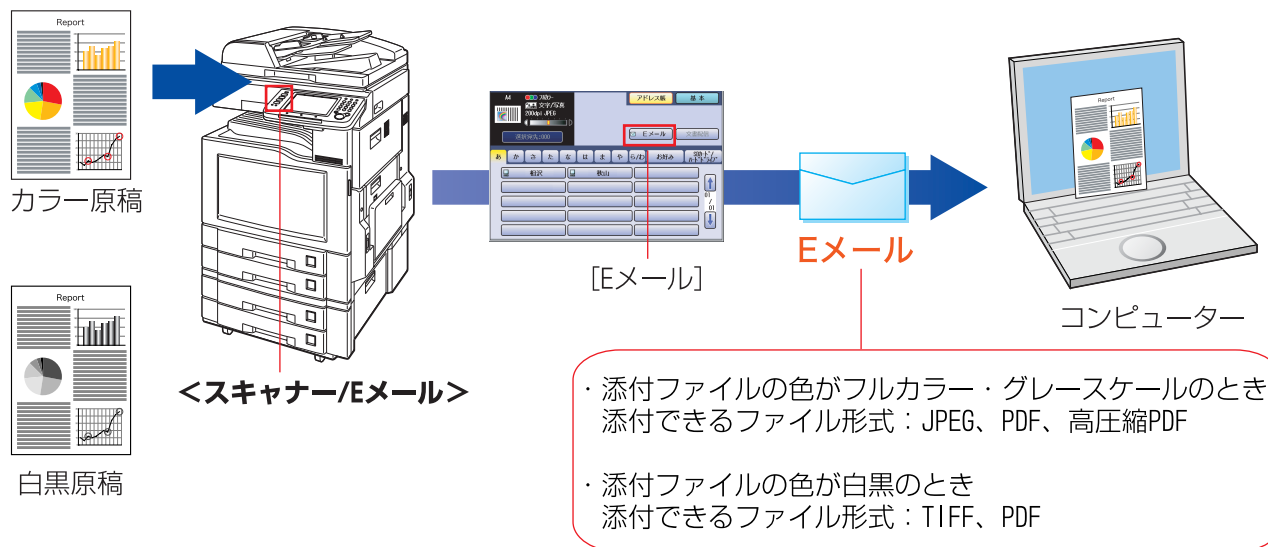
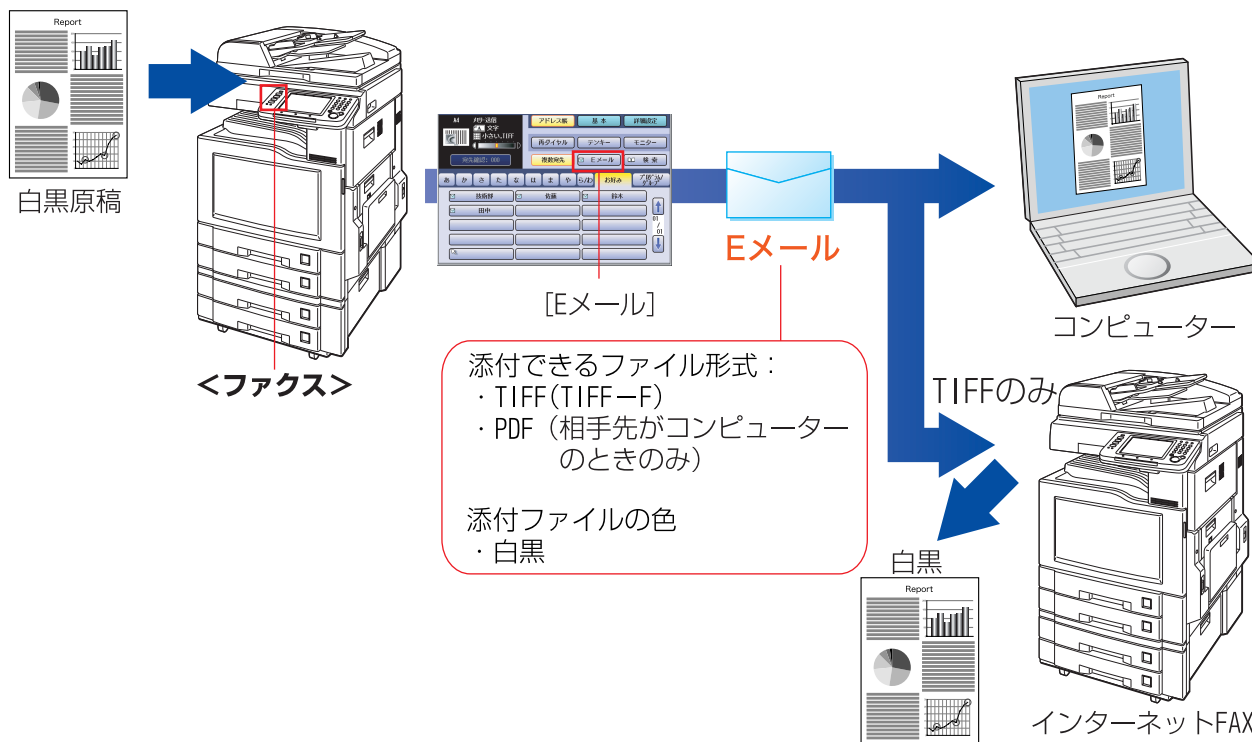
コンピューターから、ハードディスクに保存されたデータをダウンロードできます。

- 操作を中止するときは、**<ストップ>**、または[ストップ]を押して、中止を確認する画面で[はい]を押してください。

- 読み取ったデータの利用や加工については、関連書籍を参照するか、システム管理者にご相談ください。

インターネット FAX 機能の E メールとの違いについて

本機の E メール送信機能は、オプションの装着状態によって、次の 2 種類があります。

- ❏ スキャナー/E メール機能の E メール送信:ネットワークスキャナー/E メールユニット装着時
- ❏ インターネット FAX 機能の E メール送信:インターネット FAX ユニット装着時

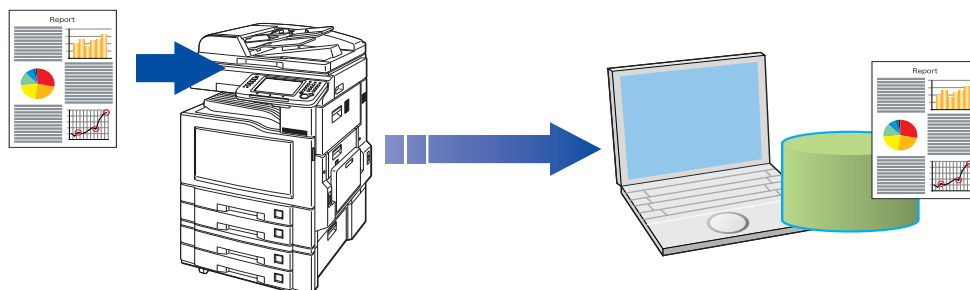
❏ スキャナー/E メール機能の E メール送信

❏ インターネット FAX 機能の E メール送信

お知らせ

- どちらのEメール機能も、あらかじめファンクション設定でEメール環境を設定しておく必要があります。『取扱説明書(セットアップ編)』、および『取扱説明書(ファンクション設定編)』を参照してください。

2章
送信先 / 保存先を設定する

この章では、スキャナー/Eメール機能の基本操作を送信先/保存先ごとに説明しています。

ネットワーク上のコンピューターへ直接送信する

アドレス帳に表示されたコンピューターに読み取ったデータを送信することができます。
データの送信が終了すると、コンピューターにデータを受信したことが通知されます。

お知らせ

- アドレス帳には、次の設定がされたネットワーク上のコンピューターが自動で表示されます。(アドレス帳の検索タブの[お好み]には表示されません)。
  ･Panasonic コミュニケーション ユーティリティでスキャナーの設定がされている
  ･Panasonic コミュニケーション ユーティリティが起動されている
  (Panasonic コミュニケーション ユーティリティは、Windows を起動すると自動的に起動されます。)
- Panasonic コミュニケーション ユーティリティでアドレス帳に自動表示できるコンピューターは、最大 120 台です。
- Panasonicコミュニケーション ユーティリティは、Panasonic Document Management Systemをインストールすると同時にインストールされます。Panasonic Document Management System のインストールと Panasonic コミュニケーション ユーティリティの設定については、『取扱説明書(セットアップ編)』の「Panasonic Document Management System のインストール」と「スキャナーの設定」を参照してください。
- アドレス帳のコンピューターは、次のときに、自動で削除されます。
  ･コンピューターがネットワーク上からログオフされたとき
  ･Panasonic コミュニケーション ユーティリティが終了されたとき

■ネットワーク上のコンピューターへ直接送信する

アドレス帳に表示されたコンピューターに読み取ったデータを送信することができます。

1.　原稿をセットする

- 原稿のセットについては、「基本的なスキャナー/E メール操作」(p.8)を参照してください。さらに詳しくは、『取扱説明書(基本編)』の「原稿セットのしかた(コピー、スキャナー/Eメールのとき)」を参照してください。

2.　<スキャナー/E メール>を押す

3.　検索タブ([あ]～[ら / わ])を選択する

4. 送信先のコンピューターを選択する

- アドレス帳には、本機とネットワークで接続され、Panasonic コミュニケーション ユーティリティでスキャナーの設定がされた他のコンピューターも表示されます。
- 1 度に選択できる送信先は 1 つです。

数秒経過すると、基本画面が表示されます。

5. 必要に応じて、読み取りの設定をする

- 読み取りの設定については、「3 章 読み取りの設定をする」(p.41)を参照してください。

6. <スタート>を押す

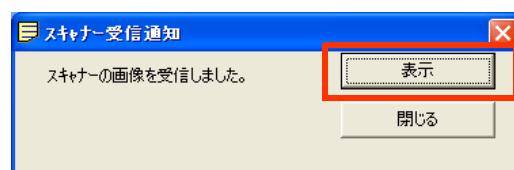
読み取ったデータがコンピューターへ送信されます。

■コンピューターの操作

読み取ったデータの送信が終了すると、コンピューターに読み取ったデータを受信したことが通知されます。
Panasonic コミュニケーション ユーティリティのスキャナー受信通知の設定によって、通知方法が異なります。

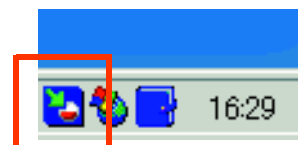
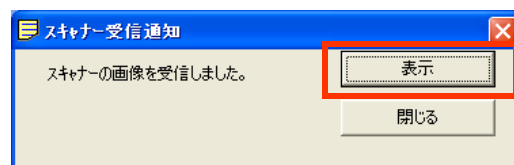
■ ポップアップ表示のとき

読み取ったデータを受信すると、受信を通知するメッセージ画面が表示されます。

1. [表示]をクリックする

設定しているアプリケーションが起動し、受信したデータが表示されます。

■ アイコン表示のとき

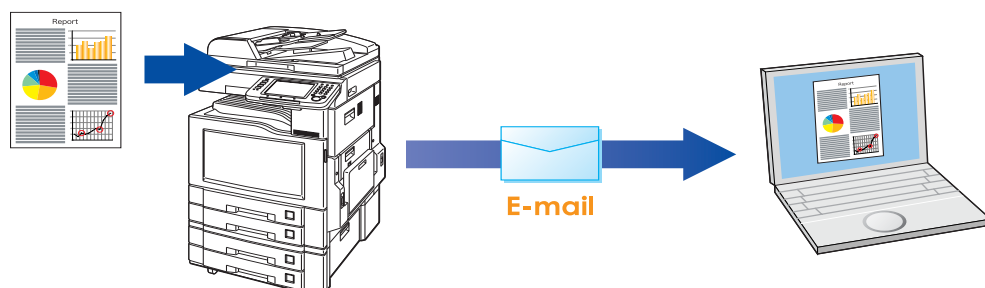
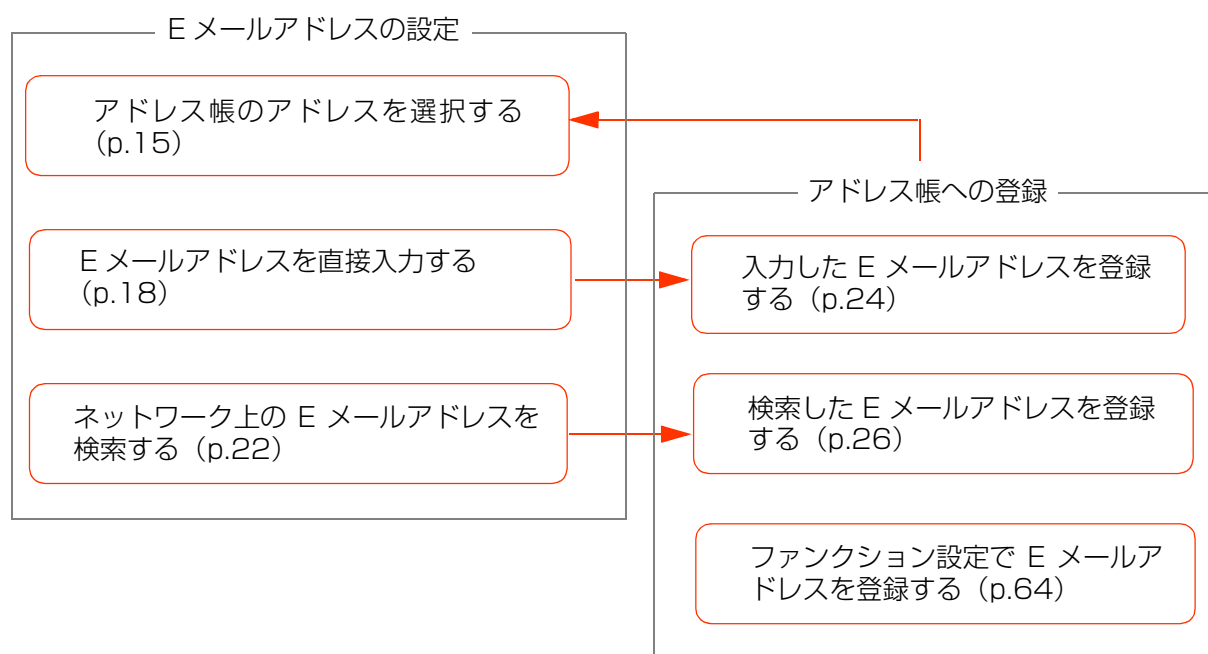
読み取ったデータを受信すると、受信を通知するアイコンが表示されます。

1. タスクバー右下の Panasonic コミュニケーション ユーティリティのアイコンをクリックする

2. [表示]をクリックする

設定しているアプリケーションが起動し、受信したデータが表示されます。

■ 受信通知なしのとき

読み取ったデータを受信すると、設定しているアプリケーションが起動し、データが表示されます。

E メールで送信する

読み取ったデータを E メールでコンピューターに送ることができます。

送信先の E メールアドレスを設定する操作と E メールアドレスを登録する操作には、次のような方法があります。

お知らせ

- 読み取ったデータのサイズがご利用のネットワーク環境の制限を超える場合は、メール送信できないときがあります。データサイズの制限については、事前にシステム管理者へご相談ください。
- JPEG 形式のデータは、PDF や TIFF 形式と異なり、1 つのファイルは、1 ページだけとなるので、複数原稿を送付するときは、1 つのファイルで複数ページとならず、複数ページ分のファイルが添付されます。
- ファイル形式は、読み取りモードにより異なります。
  ・フルカラー/ グレースケール：JPEG、PDF、高圧縮 PDF
  ・白黒：TIFF、PDF
- 複数ページのカラーイメージファイルを添付するときは、宛先数によって次のようになります。
  ・単一宛先：
    お買い上げ時の設定では、単一ページで添付されるので、ページ数と同じ数のメールが送付されます。
    複数ページを一括で送付するときは、ファンクション設定（ファクス /E メール機能設定>システムの登録）の「183　カラーemail 添付ファイル形式」を［複数ページ］に変更します。
  ・複数宛先：
    自動的に複数ページで添付されるので、一通のメールとして送信されます。
  複数ページで添付するときは、ファイルサイズが大きくなるため、通信エラーになることがあります。そのときは、単一宛先で単一ページごとに送信してください。
- Eメールアドレスをお好みに登録するときは、ファンクション設定モードで登録します。操作について詳しくは、「E メールアドレスを登録する」（p.64）を参照してください。

■アドレス帳を使う

アドレス帳に登録されたコンピューターに、読み取ったデータを E メール送信することができます。
アドレス帳に登録されたコンピューターは、次の 2 つの方法で検索できます。

❑ **検索タブ([あ]〜[お好み])を使う(p.15)**
❑ **検索文字を入力してコンピューターを検索する(p.17)**

お知らせ

- アドレス帳にEメールアドレスを登録する操作については、「Eメールアドレスを登録する」(p.24)を参照してください。
- 最大 200 か所まで、送信先を設定できます。

■ 検索タブ([あ]〜[お好み])を使う

検索タブ([あ]〜[お好み])を使ってアドレス帳に登録されたコンピューターを検索できます。

1. 原稿をセットする

- 原稿のセットについては、「基本的なスキャナー/E メール操作」(p.8)を参照してください。さらに詳しくは、『取扱説明書(基本編)』の「原稿セットのしかた(コピー、スキャナー/Eメールのとき)」を参照してください。

2. **<スキャナー/E メール>を押す**

3. [E メール]を押す

4. 検索タブ([あ]〜[お好み])を選択する

- E メールアドレスがお好みに登録されているときは、最初に[お好み]タブが表示されます。

5. 送信先のコンピューターを選択する

6. 必要に応じて、送信先を追加したり、[Cc]、[Bcc]を押して、E メールアドレスを設定する

- アドレス帳から選択するときは、手順4〜5の操作を行ってください。
- E メールアドレスを直接入力したり(p.18)、ネットワーク上の E メールアドレスを検索する(p.22)こともできます。

<次ページへ続く>

7. 必要に応じて件名を入力する

① [件名]を押す

② 件名を入力し、[OK]を押す

- 全角20文字(半角40文字)以内で入力してください。
- キーボードの使いかたについては、『取扱説明書(基本編)』の「文字入力のしかた」を参照してください。
- [From]には、送信時、本機のEメールアドレスが自動で付加されます。変更するときは、[From]を押し、次の画面で[キーボード]を押して、表示されるキーボードで送信元を入力します。

8. [閉じる]を押す

9. 必要に応じて、読み取りの設定をする

① [基本]を押す

② 読み取りの設定をする

- 読み取りの設定について詳しくは、「3 章 読み取りの設定をする」(p.41)を参照してください。
- [選択宛先]を押すと、送信先を確認することができます。詳しくは、「送信先を確認する」(p.38)を参照してください。

10. <スタート>を押す

原稿が読み取られ、読み取ったデータが選択したコンピューターに送信されます。

■ 検索文字で検索する

アドレス帳に登録されている検索文字を入力してアドレス帳に登録されたEメールアドレスの宛先名称を検索できます。

1. 原稿をセットする

● 原稿のセットについては、「基本的なスキャナー/E メール操作」(p.8)を参照してください。さらに詳しくは、『取扱説明書(基本編)』の「原稿セットのしかた(コピー、スキャナー/Eメールのとき)」を参照してください。

2. <スキャナー/E メール>を押す

3. [E メール]を押す

4. [検索]を押す

● E メールアドレスを直接入力して送る操作については、「E メールアドレスを入力して送信する」(p.18)を参照してください。

● ネットワーク上のコンピューターを検索して送る操作については、「ネットワーク上のE メールアドレスを検索する」(p.22)を参照してください。

5. 検索したい文字を入力する

アドレス帳に登録した検索文字を入力します。検索文字については、「E メールアドレスを登録する」(p.64)を参照してください。

入力例:

「ア」→「浅田」「安藤」など検索文字が「ア」の宛先名称が検索され、画面上部に表示されます。

● キーボードの使いかたについては、『取扱説明書(基本編)』の「文字入力のしかた」を参照してください。

6. 送信先を選択し、[OK]を押す

● 送信先は 1 か所だけ選択できます。

● このあとの操作は、「検索タブ([あ]～[お好み])を使う」(p.15)の手順6～10を参照してください。

■E メールアドレスを入力して送信する

直接 E メールアドレスを入力して読み取ったデータを送信することができます。
入力した E メールアドレスは、アドレス帳に登録することができます。(p.24)
E メールアドレスを入力する方法には、次の 3 つがあります。

- ❑ E メールアドレスを直接入力する(p.18)
- ❑ デフォルトドメインを使用する(p.20)
- ❑ ドメインリストを使用する(p.21)

お知らせ

- 最大 20 か所まで、送信先を設定できます。

■ E メールアドレスを直接入力する

直接 E メールアドレスを入力して読み取ったデータを送信することができます。

1. 原稿をセットする

- 原稿のセットについては、「基本的なスキャナー/E メール操作」(p.8)を参照してください。さらに詳しくは、『取扱説明書(基本編)』の「原稿セットのしかた(コピー、スキャナー/Eメールのとき)」を参照してください。

2. <スキャナー/E メール>を押す

3. [E メール]を押す

4. [キーボード]を押す

5. E メールアドレスを入力する

入力例: pcc@panasonic.com

- 半角 60 文字以内で入力してください。
- キーボードの使いかたについては、『取扱説明書(基本編)』の「文字入力のしかた」を参照してください。

6. [OK]を押す

- [アドレス帳へ追加]を押すと、入力した E メールアドレスをアドレス帳に登録できます。詳しくは、「E メールアドレスを登録する」(p.24)を参照してください。

7. 必要に応じて、送信先を追加したり、[Cc]、[Bcc]を押して、E メールアドレスを設定する

- E メールアドレスを入力するときは、手順４～６の操作をしてください。
- アドレス帳から送信先を選択したり、(p.15) ネットワーク上の E メールアドレスを検索する(p.22)こともできます。

8. 必要に応じて件名を入力する

① [件名]を押す

② 件名を入力し、[OK]を押す

- 全角20文字(半角40文字)以内で入力してください。
- キーボードの使いかたについては、『取扱説明書(基本編)』の「文字入力のしかた」を参照してください。
- [From]には、送信時、本機のEメールアドレスが自動で付加されます。変更するときは、[From]を押し、次の画面で[キーボード]を押して、表示されるキーボードで送信元を入力します。

9. [閉じる]を押す

10. 必要に応じて、読み取りの設定をする

① [基本]を押す

② 読み取りの設定をする

- 読み取りの設定について詳しくは、「3 章 読み取りの設定をする」(p.41)を参照してください。
- [選択宛先]を押すと、送信先を確認することができます。詳しくは、「送信先を確認する」(p.38)を参照してください。

11. <スタート>を押す

原稿が読み取られ、読み取ったデータが設定した E メールアドレスに送信されます。

■ デフォルトドメインを使用する

デフォルトドメインが設定されているときは、E メールアドレスの「@」より左の文字だけ入力して送信することができます。自動的にデフォルトドメインが付加されて送信されます。

お知らせ

●デフォルトドメインは、ファンクション設定(ファクス /E メール機能設定＞自局情報の登録)の「38　デフォルトドメイン」で設定できます。『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章　ファクス /E メール機能設定」を参照してください。

1. 原稿をセットする

- 原稿のセットについては、「基本的なスキャナー/E メール操作」(p.8)を参照してください。さらに詳しくは、『取扱説明書(基本編)』の「原稿セットのしかた(コピー、スキャナー/E メールのとき)」を参照してください。

2. <スキャナー/E メール>を押す

3. [E メール]を押す

4. [キーボード]を押す

5. E メールアドレスの「@」より左の文字を入力する

入力例: pcc

- 半角 60 文字以内(自動的に付加されるデフォルトドメイン名を含む)で入力してください。
- キーボードの使いかたについては、『取扱説明書(基本編)』の「文字入力のしかた」を参照してください。

6. [OK]を押す

- このあとの操作は、「E メールアドレスを直接入力する」(p.18)の手順 7 〜 11 を参照してください。

自動的にデフォルトドメインが付加されて送信されます。

■ ドメインリストを使用する

セレクトドメインが設定されているときは、E メールアドレスの「@」より左の文字を入力したあとに、ドメインリストからドメインを選択して入力することができます。

お知らせ

●セレクトドメインは、ファンクション設定（ファクス /E メール機能設定＞自局情報の登録）の「25　セレクトドメイン 01」～「34　セレクトドメイン 10」で 10 個まで設定できます。『取扱説明書（ファンクション設定編）』の「4 章　ファクス /E メール機能設定」を参照してください。

1. 原稿をセットする

- 原稿のセットについては、「基本的なスキャナー/E メール操作」(p.8)を参照してください。さらに詳しくは、『取扱説明書（基本編）』の「原稿セットのしかた（コピー、スキャナー /E メールのとき）」を参照してください。

2. <スキャナー/E メール>を押す

3. [E メール]を押す

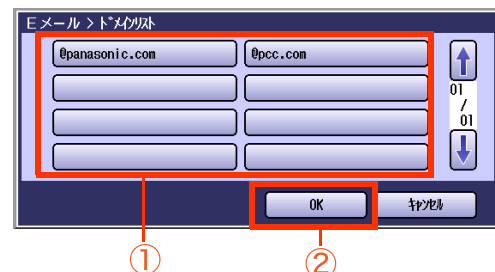
4. [キーボード]を押す

5. E メールアドレスの「@」より左の文字を入力する

入力例：pcc

- 半角60文字以内（手順6～7で選択するドメイン名を含む）で入力してください。
- キーボードの使いかたについては、『取扱説明書（基本編）』の「文字入力のしかた」を参照してください。

6. [ドメインリスト]を押す

7. ドメインを選択して、[OK]を押す

選択したドメインが付加されます。

8. [OK]を押す

- [アドレス帳へ追加]を押すと、入力した E メールアドレスをアドレス帳に登録できます。(p.24)
- このあとの操作は、「E メールアドレスを直接入力する」(p.18)の手順 7 ～ 11 を参照してください。

■ネットワーク上の E メールアドレスを検索する

LDAP サーバーのデータベースから、ネットワークを利用するユーザー名をもとに E メールアドレスを検索できます。検索した E メールアドレスは、アドレス帳に登録することができます。

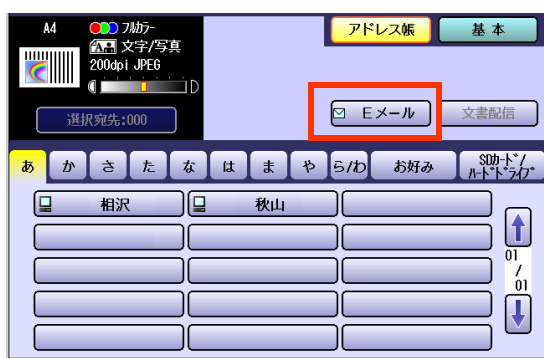
お知らせ

- この機能は、LDAP サーバーが設定されているネットワーク環境で使用できます。
- LDAP サーバーの設定については、『取扱説明書(ファンクション設定編)』「4 章　ファクス /E メール機能設定」「設定例:LDAP サーバー」を参照してください。
- 送信先は、直接入力した E メールアドレスも含めて最大 20 か所まで設定できます。

1. 原稿をセットする

- 原稿のセットについては、「基本的なスキャナー/E メール操作」(p.8)を参照してください。さらに詳しくは、『取扱説明書(基本編)』の「原稿セットのしかた(コピー、スキャナー/E メールのとき)」を参照してください。

2. <スキャナー/E メール>を押す

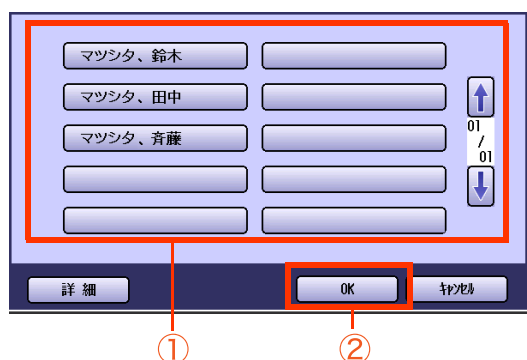
3. [E メール]を押す

4. [検索]を押す

5. [グローバル]を押す

6. 検索したいユーザー名の始めの文字を入力し、[検索]を押す

- 半角英数、漢字など入力する文字の種類は、お使いのLDAPサーバー環境によって異なります。
- キーボードの使いかたについては、『取扱説明書(基本編)』の「文字入力のしかた」を参照してください。
- [ローカル]を押すと、検索を中止して、前の画面に戻ります。

ユーザー名が検索されます。

7. 送信先を選択し、[OK] を押す

- 選択できる送信先は、1 つだけです。

8. [OK] を押す

- [アドレス帳へ追加] を押すと、選択したコンピューターの E メールアドレスをアドレス帳に登録できます。詳しくは、「E メールアドレスを登録する」(p.24) を参照してください。
- このあとの操作は、「E メールアドレスを入力して送信する」(p.18) の手順 7 ～ 11 を参照してください。

■E メールアドレスを登録する

E メールアドレスを登録する方法には、次の 2 つがあります。

❑ E メールアドレスを入力して登録する(p.24)

❑ ネットワーク上の E メールアドレスを検索して登録する(p.26)

お知らせ

●Eメールアドレスをお好みに登録するときは、ファンクション設定モードで登録してください。操作について詳しくは、「E メールアドレスを登録する」(p.64)を参照してください。

●E メールアドレスは、1060 か所まで登録できます。

■ E メールアドレスを入力して登録する

直接 E メールアドレスを入力して、E メールアドレス帳に登録できます。

1. **<スキャナー/E メール>を押す**

2. **[E メール]を押す**

3. **[キーボード]を押す**

4. **E メールアドレスを入力する**

入力例: pcc@panasonic.com

● 半角 60 文字以内で入力してください。

● キーボードの使いかたについては、『取扱説明書(基本編)』の「文字入力のしかた」を参照してください。

● ドメインリストを使用して入力することもできます。「ドメインリストを使用する」(p.21)を参照してください。

5. **[アドレス帳へ追加]を押す**

6. **「宛先名称」と「ボタン名称」を変更するときは、次の操作をする**

① [編集]を押す

● 宛先名称とボタン名称には、入力したEメールアドレスの「@」より左の文字が表示されます。

② 宛先名称を入力し、[OK] を押す

- 宛先名称は、アドレス帳リストなどに印刷されるアドレスを管理するための名称です。
- 全角 20 文字以内で入力してください。
- キーボードの使いかたについては、『取扱説明書（基本編）』の「文字入力のしかた」を参照してください。

③ ボタン名称を入力し、[OK] を押す

- ボタン名称は、アドレス帳に表示される名称です。
- 全角 10 文字以内で入力してください。

④ 検索文字を入力し、[OK] を押す

- 検索文字は、10 文字まで入力できます。ただし、数字は入力できません。
- 検索文字は、アドレス帳で宛先を検索するときに使う文字です。（[あ]～[ら / わ] の仕分けにも使われます）。宛先名のフリガナなどをカタカナで入力します。
- 英数字を入力すると、アドレス帳画面の [あ] のタブ内に表示されます。ただし、英数文字は、検索文字としては使用できません。

7. [OK] を押す

8. [OK] を押す

- 登録した E メールアドレスに送信する操作については、「アドレス帳を使う」（p.15）を参照してください。
- 続けてEメールアドレスを登録するときは、手順 3 ～ 7 を繰り返します。
- 終了したら、**<リセット>**を押してください。

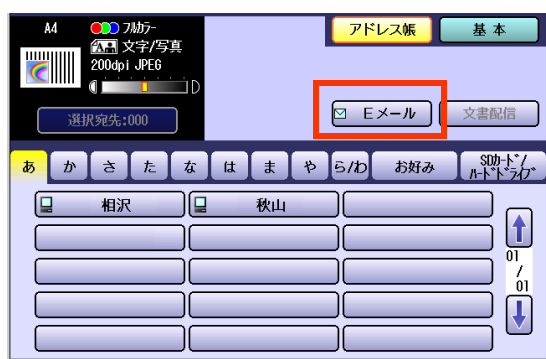
■ ネットワーク上の E メールアドレスを検索して登録する

LDAP サーバーのデータベースから、ネットワークを利用するユーザー名をもとに E メールアドレスを検索して、アドレス帳に登録することができます。

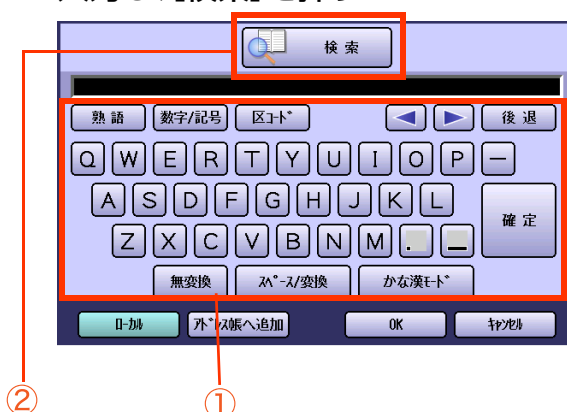
お知らせ

- この機能は、LDAP サーバーが設定されているネットワーク環境で使用できます。
- LDAP サーバーの設定については、『取扱説明書(ファンクション設定編)』「4 章　ファクス /E メール機能設定」「設定例：LDAP サーバー」を参照してください。

1. **<スキャナー/E メール>を押す**

2. **[E メール] を押す**

3. **[検索] を押す**

4. **[グローバル] を押す**

5. **検索したいユーザー名の始めの文字を入力し、[検索] を押す**

- 半角英数、漢字など入力する文字の種類は、お使いのLDAPサーバー環境によって異なります。
- キーボードの使いかたについては、『取扱説明書(基本編)』の「文字入力のしかた」を参照してください。
- [ローカル] を押すと、検索を中止して、前の画面に戻ります。

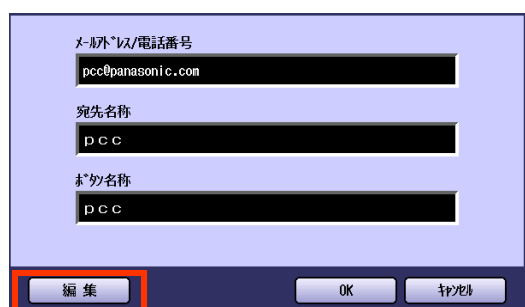
ユーザー名が検索されます。

6. **送信先を選択し、[OK] を押す**

- 選択できる送信先は、1 つだけです。

7. [アドレス帳へ追加]を押す

8. 「宛先名称」と「ボタン名称」を変更するときは、次の操作をする

① [編集]を押す

- 宛先名称とボタン名称には、入力したEメールアドレスの「@」より左の文字が表示されています。

② 宛先名称を入力し、[OK]を押す

- 宛先名称は、アドレス帳リストなどに印刷されるアドレスを管理するための名称です。
- 全角 20 文字以内で入力してください。
- キーボードの使いかたについては、『取扱説明書(基本編)』の「文字入力のしかた」を参照してください。

③ ボタン名称を入力し、[OK]を押す

- ボタン名称は、アドレス帳に表示される名称です。
- 全角 10 文字以内で入力してください。

④ 検索文字を入力し、[OK]を押す

- 検索文字は、10 文字まで入力できます。ただし、数字は入力できません。
- 検索文字は、アドレス帳で宛先を検索するときに使う文字です。([あ]～[ら / わ]の仕分けにも使われます)。宛先名のフリガナなどをカタカナで入力します。
- 英数字を入力すると、アドレス帳画面の[あ]のタブ内に表示されます。ただし、英数文字は、検索文字としては使用できません。

⑤ ①の画面で[OK]を押す

9. [OK]を押す

- 登録した E メールアドレスに送信する操作については、「アドレス帳を使う」(p.15)を参照してください。
- 続けてEメールアドレスを登録するときは、手順 3 ～ 8 を繰り返します。

E メールを受信する

Eメールを受信するためには、オプションのインターネットFAXユニットが装着されている必要があります。インターネット FAX ユニットが装着されていると、インターネット FAX やコンピューターから受信した E メールメッセージと添付ファイルの画像を印刷することができます。本機で印刷できる添付ファイルは、TIFF(TIFF-F)形式の白黒画像だけです。

■E メール受信の設定

本機を POP クライアントとしてネットワークに接続している場合は、自動受信、または手動受信で E メールを受信します。POP 受信サーバーからの受信のしかたは、ファンクション設定の POP に関する設定によって異なります。

ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]＞[04 キーオペレーター専用]＞[01 システムの登録]の下記の項目の設定により、POP 受信のしかたを設定できます。

項目	設定
146 POP 取得間隔	POP 受信サーバーに受信メールの問い合わせを行う間隔を設定します。 ・0 ～ 60 分で設定します。 ・0 分に設定すると、E メールは自動取得されません。
147 POP 自動受信	POP 受信サーバーから E メールを自動的に受信するかどうかを設定します。 ・[あり]に設定すると、POP 受信サーバーに E メールがあれば、自動的に E メールを受信し、印刷されます。 ・[なし]に設定すると、受信メールの件数だけがディスプレイに表示されます。この場合は、手動で E メールを受信する必要があります。手動受信については、「E メールを手動で受信する」(p.29)を参照してください。
148 POP 受信後削除	E メールを受信したあと、POP 受信サーバーからメールを削除するかどうかを設定します。
149 POP エラー時削除	印刷できない形式の添付ファイルを受信した場合に、POP 受信サーバーからメールを削除するかどうかを設定します。

お知らせ

●本機は、HTML 言語に対応していません。このため、HTML 形式の文書を受信した場合は、文字だけが印刷されます。

●POP に関するファンクション設定については、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章 ファクス /E メール機能設定」を参照してください。

●プログラムダイヤルにPOP手動受信を登録しておくと、自局設定以外のユーザー名でPOP受信できます。詳しくは、『取扱説明書(ファクス / インターネット FAX 編)』の「7 章 データを登録する」を参照してください。

■E メールを自動受信する

ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]＞[04 キーオペレーター専用]＞[01 システムの登録]で、[147 POP 自動受信]が[あり]に、[146 POP 取得間隔]が 1 ～ 60 分に設定されている場合は、定期的に POP 受信サーバーに対し、受信メールがあるかどうかが問い合わせされます。

問い合わせ時に POP 受信サーバーに E メールがある場合は受信し、自動的に印刷されます。

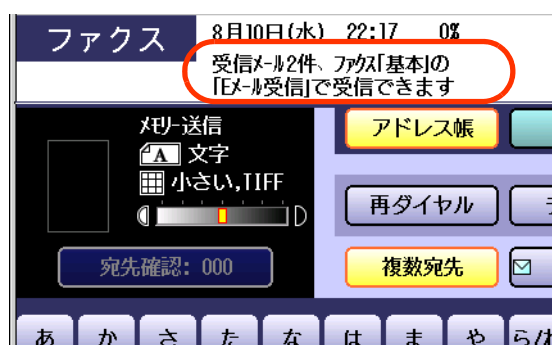
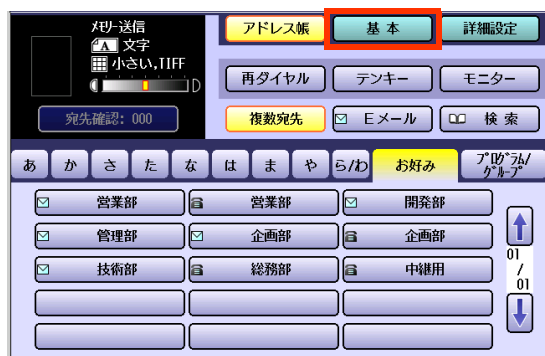
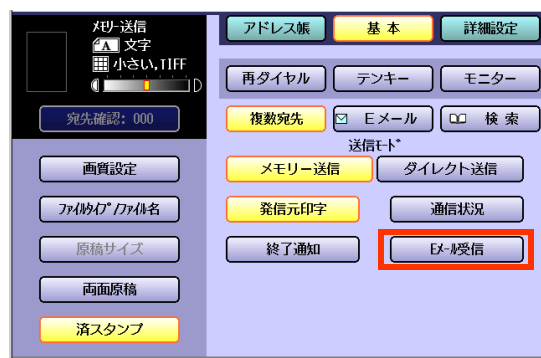
■E メールを手動で受信する

ファンクション設定の[147 POP 自動受信]が[なし]に設定されている場合は、手動で E メールを受信します。

お知らせ

●POP取得間隔が 1 ～60分に設定されている場合は、定期的にPOP受信サーバーに対し、受信メールがあるかどうかが問い合わせされ、E メールの件数がディスプレイに表示されます。

1. **<ファクス>を押す**

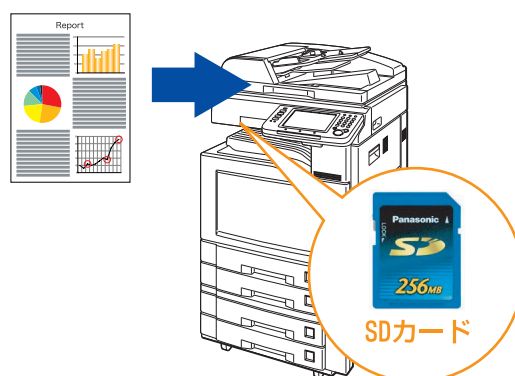
2. **受信メールがあることを確認する**

3. **[基本]を押す**

4. **[E メール受信]を押す**

POP 受信サーバーから E メールを受信し、印刷されます。

SD カード /PC カードアダプター内のメモリーカードに保存する

本体の SD カード /PC カードスロットに、次のメディアをセットして、読み取ったデータを直接保存することができます。

❑ SD カード(p.30)
❑ メモリーカード(PC カードアダプターを使用)(p.32)

■SD カードに保存する

本体の SD カードスロットにセットした SD カードに、読み取ったデータを保存することができます。

お知らせ

●SD ロゴは商標です。SD ロゴマーク入りの純正の SD カード(最大 1GB)だけを使用できます。

1. **原稿をセットする**

● 原稿のセットについては、「基本的なスキャナー/E メール操作」(p.8)を参照してください。さらに詳しくは、『取扱説明書(基本編)』の「原稿セットのしかた(コピー、スキャナー/Eメールのとき)」を参照してください。

2. **SD カードを SD カードスロットにセットする**

● SD カードのセットについては、『取扱説明書(基本編)』の「SD カード /PC カードアダプターのセットのしかた」を参照してください。

3. **<スキャナー/E メール>を押す**

4. **[SD カード / ハードドライブ]を押す**

5. [SD カード]を押す

- SD カードに保存するときに、同時に PC カードやハードディスクに保存することはできません。

数秒経過すると、基本画面が表示されます。

6. 必要に応じて読み取りの設定をする

- 読み取りの設定については、「3 章 読み取りの設定をする」(p.41)を参照してください。

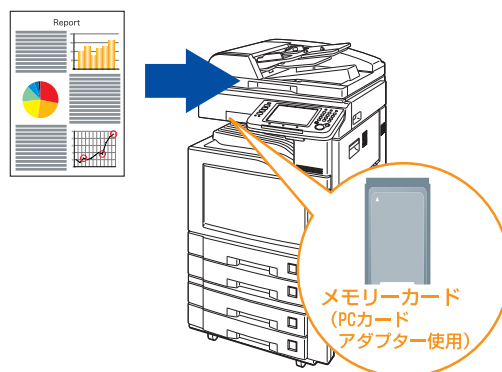
7. <スタート>を押す

原稿の読み取りが開始され、終了すると、読み取ったデータが、SD カードの次のフォルダーに保存されます。
¥PRIVATE¥MEIGROUP¥PCC¥DI¥IMAGE

8. 読み取ったデータの保存が終了したら、SD カードを取り出す

- SD カードの取り出しかたついては、『取扱説明書(基本編)』の「SD カード /PC カードアダプターのセットのしかた」を参照してください。
- SD カードに保存したデータは、本機、または別の DP-C262 や DP-C322 で印刷することができます。詳しくは、『取扱説明書(基本編)』の「SD カード /PC カードからの印刷」を参照してください。ただし、PDF データ、または高圧縮 PDF データを印刷するときは、Memory Card Print Utility のインストールと設定を行ってください。詳しくは、Document Management System CD-ROM 内の「Memory Cart Print Utility」のヘルプを参照してください。

■PC カードアダプター内のメモリーカードに保存する

本体の PC カードスロットにセットした、PC カードアダプター内のメモリーカードに、読み取ったデータを保存することができます。

お知らせ

- 使用できるPCカードアダプターは、Type Ⅱ、動作電圧3.3V対応のものです。5Vタイプ、Card Bus、およびHDD タイプは使用できません。
- PCカードアダプターで使用できるメモリーカードについては、PCカードアダプターの説明書を参照してください。

1. 原稿をセットする

- 原稿のセットについては、「基本的なスキャナー/E メール操作」(p.8)を参照してください。さらに詳しくは、『取扱説明書（基本編）』の「原稿セットのしかた（コピー、スキャナー/Eメールのとき）」を参照してください。

2. PC カードアダプターを PC カードスロットにセットする

- PC カードのセットについては、『取扱説明書（基本編）』の「SD カード /PC カードアダプターのセットのしかた」を参照してください。

3. <スキャナー/E メール>を押す

4. [SD カード / ハードドライブ] を押す

5. [PC カード] を押す

- PC カードアダプター内のメモリーカードに保存するときに、同時に SD カードやハードディスクに保存することはできません。

数秒経過すると、基本画面が表示されます。

6. 必要に応じて、読み取りの設定をする

- 読み取りの設定については、「3 章 読み取りの設定をする」(p.41)を参照してください。

7. **<スタート>を押す**

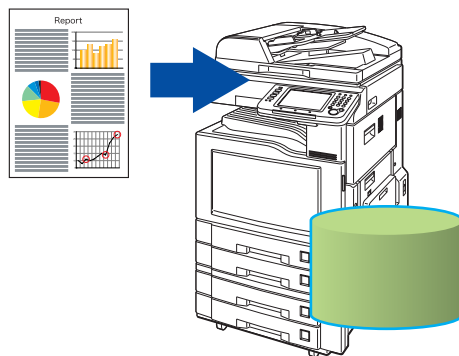
原稿の読み取りが開始され、終了すると、読み取ったデータが、PC カードアダプター内メモリーカードの、次のフォルダーに保存されます。
￥PRIVATE￥MEIGROUP￥PCC￥DI￥IMAGE

8. **読み取ったデータの保存が終了したら、PC カードアダプターを取り出す**

- PC カードアダプターの取り出しかたついては、『取扱説明書(基本編)』の「SD カード /PC カードアダプターのセットのしかた」を参照してください。
- PC カードアダプター内のメモリーカードに保存したデータは、本機、または別の DP-C262 や DP-C322 で印刷することができます。詳しくは、『取扱説明書(基本編)』の「SD カード /PC カードからの印刷」を参照してください。ただし、PDF データ、または高圧縮 PDF データを印刷するときは、Memory Card Print Utility のインストールと設定を行ってください。詳しくは、Document Management System CD-ROM 内の「Memory Cart Print Utility」のヘルプを参照してください。

ハードディスクに保存する

読み取ったデータを本体内のハードディスクに保存できます。

ハードディスクに保存したデータは、コンピューターからダウンロード(p.36)したり、削除(p.37)したりすることができます。

お知らせ

- ハードディスクには、あらかじめ12のイメージボックスが設定されています。イメージボックス名を変更する操作については、「イメージボックス名を編集する」(p.70)を参照してください。
- ファンクション設定で、ハードディスクに保存されたデータをすべて削除することができます。
詳しくは、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「5 章　スキャナー機能設定」を参照してください。

■ハードディスクに保存する

読み取ったデータを本体内のハードディスクに保存することができます。

1. 原稿をセットする

- 原稿のセットについては、「基本的なスキャナー/E メール操作」(p.8)を参照してください。さらに詳しくは、『取扱説明書(基本編)』の「原稿セットのしかた(コピー、スキャナー/Eメールのとき)」を参照してください。

2. <スキャナー/E メール>を押す

3. [SD カード / ハードドライブ]を押す

4. イメージボックスを選択する

- 選択できるイメージボックスは 1 つです。
- イメージボックスに保存するときに、同時に SD カードや PC カードアダプター内のメモリーカードに保存することはできません。

数秒経過すると、基本画面が表示されます。

5. 必要に応じて読み取りの設定をする

- 読み取りの設定については、「3 章 読み取りの設定をする」(p.41)を参照してください。

6. <スタート>を押す

原稿の読み取りが開始され、終了すると、読み取ったデータがハードディスク内の選択したイメージボックスに保存されます。

- 保存したデータをダウンロードする操作は、「読み取ったデータをダウンロードする」(p.36)を参照してください。
- 読み取ったデータがハードディスク内に保存されている場合、メモリーは０%にはなりません。

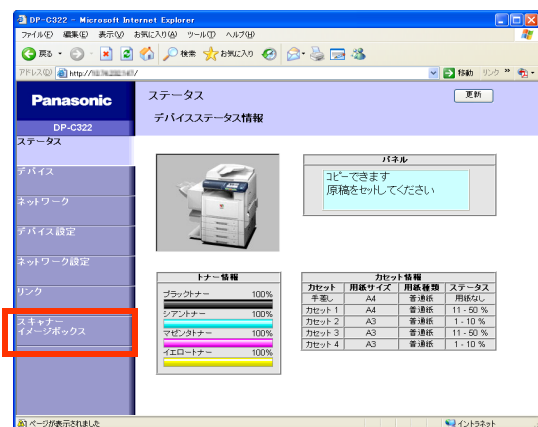
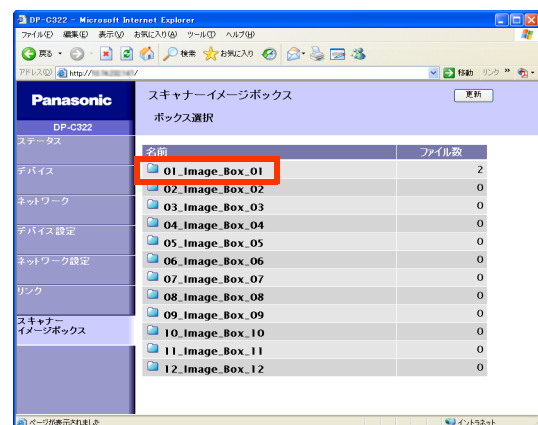
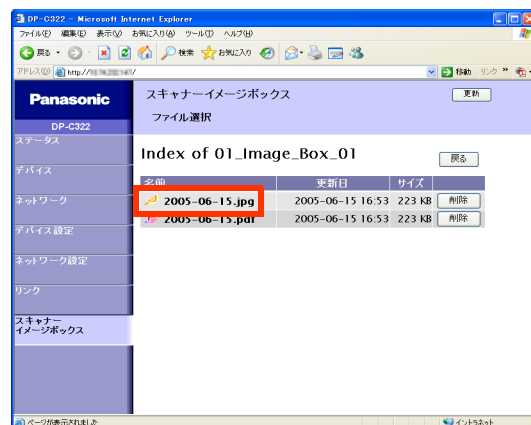
■読み取ったデータをダウンロードする

原稿を読み取ってハードディスクに保存されたデータは、ネットワークで接続されたコンピューターからダウンロードできます。ここでは、Web ブラウザに Microsoft Internet Explorer を使用した場合を例に説明します。

1. **コンピューターの Web ブラウザを起動する**

2. **本機の IP アドレスを入力する**

例：http://10.74.232.147
本機の状態が表示されます。

3. **[スキャナーイメージボックス]をクリックする**

4. **読み取ったデータが保存されているイメージボックス名をクリックする**

5. **ダウンロードするデータ名を右クリックし、[対象をファイルに保存]を選択する**

ファイルを保存するための保存先選択画面が表示されます。

6. **コンピューター上の保存先を選択して、[保存]をクリックする**

選択したデータがコンピューターにダウンロードされます。

■読み取ったデータを削除する

原稿を読み取ってハードディスクに保存されたデータは、ネットワークで接続されたコンピューターから削除することができます。ここでは、Web ブラウザに Microsoft Internet Explorer を使用した場合を例に説明します。

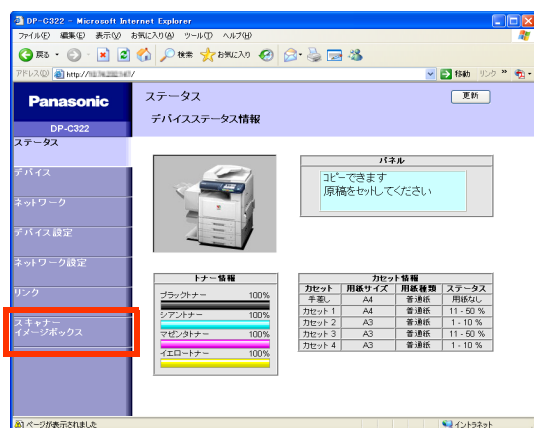
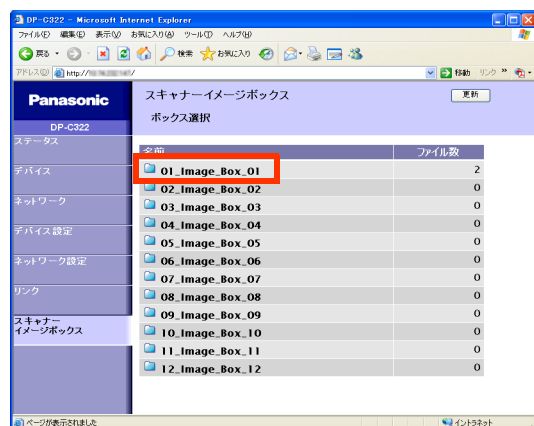
お知らせ

●ファンクション設定で、ハードディスクに保存されたデータをすべて削除することができます。詳しくは、『取扱説明書（ファンクション設定編）』の「5 章　スキャナー機能設定」を参照してください。

1. **コンピューターの Web ブラウザを起動する**

2. **本機の IP アドレスを入力する**

例：http://10.74.232.147
本機の状態が表示されます。

3. **[スキャナーイメージボックス]をクリックする**

4. **読み取ったデータが保存されているイメージボックス名をクリックする**

5. **削除するデータの[削除]をクリックする**

データの削除を確認するメッセージが表示されます。

6. **[OK]をクリックする**

7. **[OK]をクリックする**

選択したデータがハードディスクから削除されます。

送信先を確認する

E メール送信する前に、送信先を確認することができます。
必要に応じて、送信先を変更したり、削除したりできます。

■送信先を確認する

送信先を確認することができます。

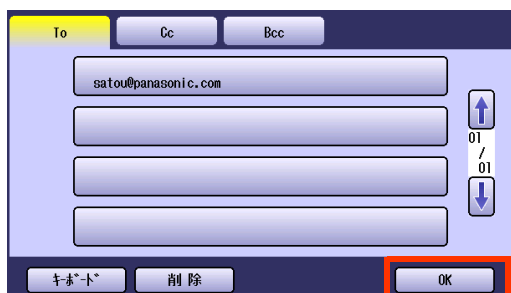
1. [選択宛先 : ###] を押す

(###: 宛先数)

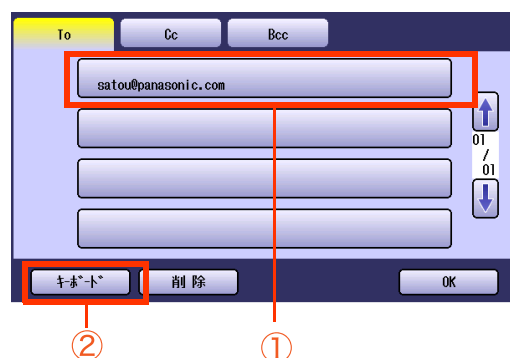
❑ アドレス帳画面のとき

❑ 基本画面のとき

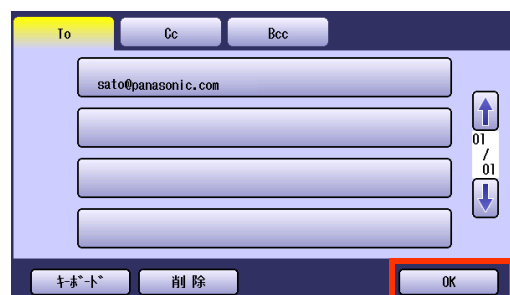
設定されている宛先が表示されます。

2. [OK] を押す

■送信先を変更する

送信先を変更することができます。

1. 変更する送信先を選択して [キーボード] を押す

- 直接入力した E メールアドレスだけ変更できます。
- この画面を表示する操作は、左記の「送信先を確認する」の手順 1 を参照してください。

2. E メールアドレスを変更して、[OK] を押す

3. [OK] を押す

■送信先を削除する

送信先を削除することができます。

1. [選択宛先 : ###] を押す

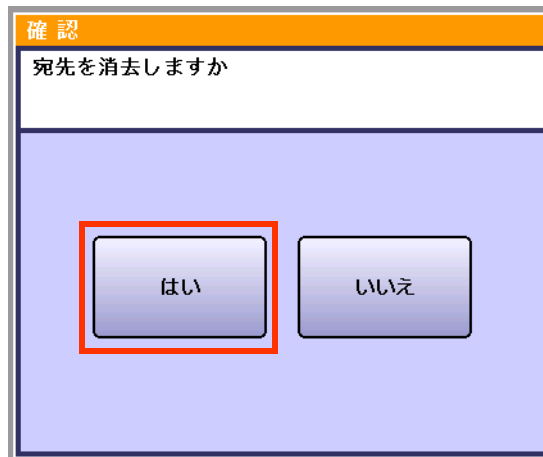
(###: 宛先数)

❑ アドレス帳画面のとき

❑ 基本画面のとき

設定されている宛先が表示されます。

2. 削除する送信先を選択して[削除]を押す

3. 削除を確認する画面で、[はい]を押す

● 手順2で宛先が1か所だけのときは、手順1の画面に戻ります。

4. [OK]を押す

3章
読み取りの設定をする

この章では、読み取りの設定方法について説明しています。

読み取りの設定について

ここでは、読み取りの設定でできることと、読み取りの設定の流れについて説明します。

■読み取りの設定でできること

スキャナー/E メールモードでは、次の読み取りの設定ができます。

■読み取りの設定の流れ

ここでは、読み取りの設定の流れについて説明します。

1. 原稿をセットする

- 原稿のセットについては、「基本的なスキャナー/E メール操作」(p.8)を参照してください。さらに詳しくは、『取扱説明書(基本編)』の「原稿セットのしかた(コピー、スキャナー/Eメールのとき)」を参照してください。

2. <スキャナー/E メール>を押す

3. 読み取ったデータの送信先、または保存先を選択する

- 詳しい操作については、「2 章 送信先 / 保存先を設定する」(p.11)を参照してください。

4. E メール送信時は、[基本]を押す

- E メール送信以外は、送信先 / 保存先を選択すると、数秒後に自動で手順5の画面に変わります。

5. 読み取りの設定をする

- お買い上げ時の設定は、次のとおりです。
  ・カラーモード:フルカラー
  ・原稿種類:文字 / 写真原稿
  ・解像度:200dpi
  ・ファイルタイプ:JPEG
- 詳しい操作については、次ページ以降を参照してください。

6. <スタート>を押す

読み取ったデータが送信 / 保存されます。

- 操作を中止するときは、**<ストップ>**、または[ストップ]を押して、中止を確認する画面で[はい]を押してください。

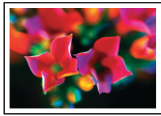
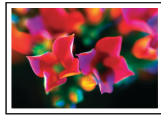
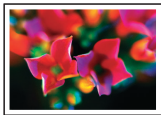
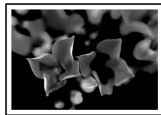
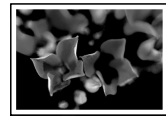
画質を設定する　[画質設定]

[画質設定]では、次の設定ができます。

お知らせ

- [画質設定]の各設定は、初期値を変更できます。変更する操作については、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「5 章　スキャナー機能設定」を参照してください。
- 色の設定は、次のときに初期値に戻ります。
  - ・電源を OFF にしたとき
  - ・設定の途中で**<ストップ>**、または**<リセット>**を押したとき
  - ・読み取ったデータの送信 / 保存が終了したとき

■色を設定する ［画質設定］

読み取る色を設定します。

お知らせ

●読み取ったデータのサイズは、[白黒]、[グレースケール]、[フルカラー]の順に大きくなります。

1. [画質設定]を押す

● この画面を表示する操作は、「読み取りの設定の流れ」（p.43）の手順１～４を参照してください。

2. 読み取る色を選択し、[OK]を押す

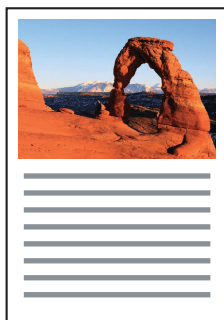
フルカラー	カラー原稿をフルカラー（赤、緑、青）で読み取りたいとき
グレースケール	カラー/モノクロ原稿をグレースケールで読み取りたいとき
白黒	カラー/ モノクロ原稿を白黒で読み取りたいとき

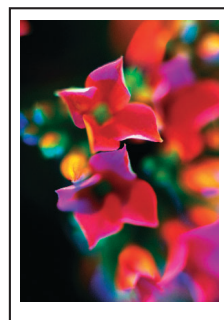
3. <スタート>を押す

読み取ったデータが送信 / 保存されます。

■原稿の種類を設定する ［原稿種類］

文字原稿、写真原稿など、原稿の種類に合わせた画質で読み取ります。

文字

文字 / 写真

写真

お知らせ

●読み取ったデータのサイズは、［文字］、［文字 / 写真］、［写真］の順に大きくなります。

1. ［画質設定］を押す

- この画面を表示する操作は、「読み取りの設定の流れ」(p.43)の手順 1 ～ 4 を参照してください。

2. 原稿の種類を選択し、［OK］を押す

文字	文字だけの原稿を読み取りたいとき
文字 / 写真	文字と写真が混在する原稿を読み取りたいとき
写真	写真を読み取りたいとき

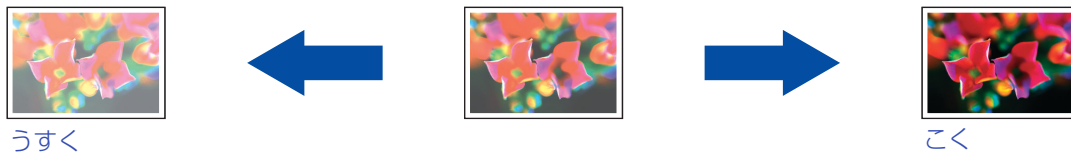
3. <スタート>を押す

読み取ったデータが送信 / 保存されます。

■濃度を設定する ［濃度］

読み取り濃度をうすくしたり、濃くしたりして読み取ります。

うすく

こく

1. **[画質設定]を押す**

- この画面を表示する操作は、「読み取りの設定の流れ」(p.43)の手順１～４を参照してください。

2. **[うすく]、[こく]を押して濃度を設定し、[OK]を押す**

うすく	色をうすく読み取りたいとき
こく	色を濃く読み取りたいとき

3. **<スタート>を押す**

読み取ったデータが送信 / 保存されます。

■解像度を設定する ［解像度］

解像度を設定して読み取ります。

お知らせ

●読み取ったデータのサイズは、解像度が高くなるにともない、大きくなります。

1. ［画質設定］を押す

● この画面を表示する操作は、「読み取りの設定の流れ」（p.43）の手順 1 ～ 4 を参照してください。

2. 解像度を選択して［OK］を押す

● 解像度や画質設定は、お買い上げ時の設定（200dpi、フルカラー）で、写真など、ほとんどの原稿を問題なく読み取ることができます。さらに、小さい文字（8ポイント以下）を鮮明に読み取るためには、解像度を上げるか、［詳細設定］の［圧縮（フルカラー）］で［画質優先］を設定してください。
ただし、ファイルサイズが大きくなるため、ご使用のネットワークやコンピューターの仕様によって、転送処理時間が長くなります。
例：A4 サイズのカラー原稿写真を 600dpi で読み取ると、200dpi で読み取るときに比べ、データ転送に約 3 倍の時間を要します。
（送信先のコンピューターの仕様が CPU：Pentium4 - 3GHz、メモリー：512MB、PCI バスクロック：800MHz、LAN：100Base-T のとき）

3. <スタート>を押す

読み取ったデータが送信 / 保存されます。

■詳細な設定をする　[詳細設定]

次の５つの設定ができます。

- ❑ フルカラーの圧縮(p.49)
- ❑ グレースケールの圧縮(p.50)
- ❑ 白黒の圧縮(p.51)
- ❑ 地色除去(p.52)
- ❑ コントラスト(p.53)

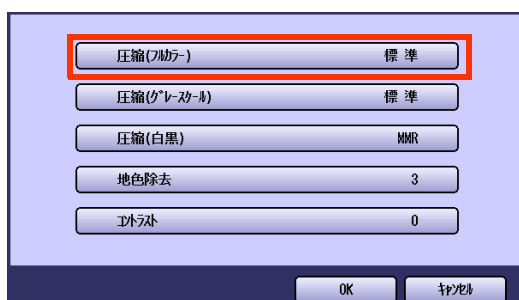
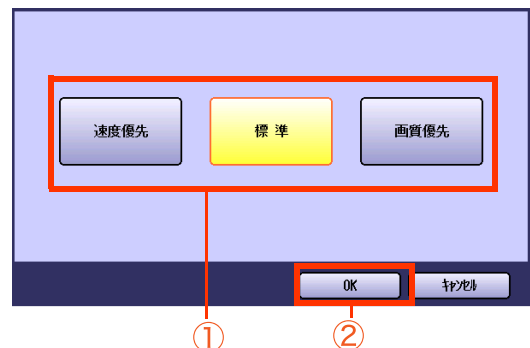
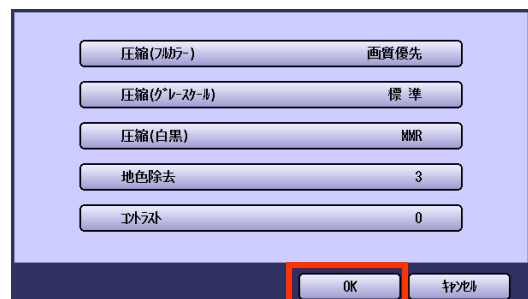
■ フルカラーの圧縮　[圧縮(フルカラー)]

フルカラーで読み取るときの圧縮方法を設定します。

1.　[画質設定]を押す

● この画面を表示する操作は、「読み取りの設定の流れ」(p.43)の手順１～４を参照してください。

2.　[詳細設定]を押す

3.　[圧縮(フルカラー)]を押す

4.　圧縮方法を選択し、[OK]を押す

速度優先	画質よりも転送速度を優先したいとき(データサイズは、画質優先より小さくなります)
標準	標準的な画質で読み取りたいとき
画質優先	転送速度よりも画質を優先したいとき(データサイズは、速度優先より大きくなります)

5.　[OK]を押す

● 手順２の画面に戻るので、[OK]を押します。

6.　<スタート>を押す

読み取ったデータが送信 / 保存されます。

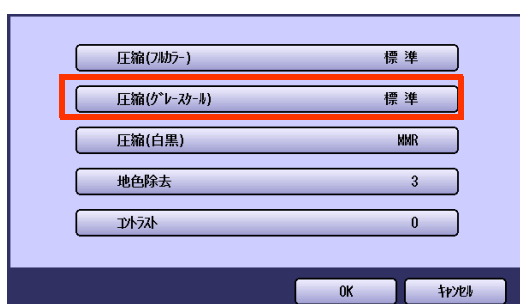
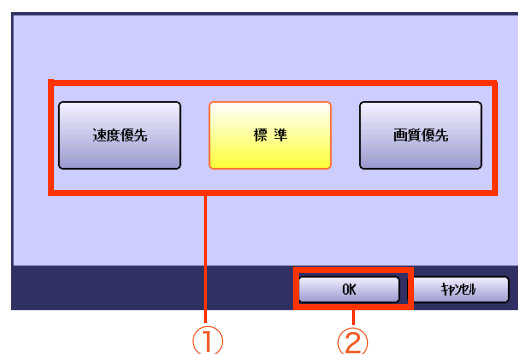
■ グレースケールの圧縮 ［圧縮(グレースケール)］

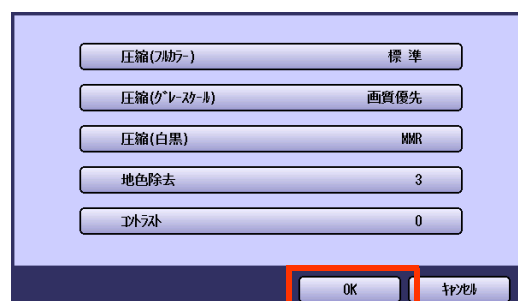
グレースケールで読み取るときの圧縮方法を設定します。

1. ［画質設定］を押す

● この画面を表示する操作は、「読み取りの設定の流れ」(p.43)の手順 1 〜 4 を参照してください。

2. ［詳細設定］を押す

3. ［圧縮(グレースケール)］を押す

4. 圧縮方法を選択し、［OK］を押す

速度優先	画質よりも転送速度を優先したいとき(データサイズは、画質優先より小さくなります)
標準	標準的な画質で読み取りたいとき
画質優先	転送速度よりも画質を優先したいとき(データサイズは、速度優先より大きくなります)

5. ［OK］を押す

● 手順 2 の画面に戻るので、［OK］を押します。

6. **<スタート>を押す**

読み取ったデータが送信 / 保存されます。

■ 白黒の圧縮 [圧縮(白黒)]

白黒で読み取るときの圧縮方法を設定します。

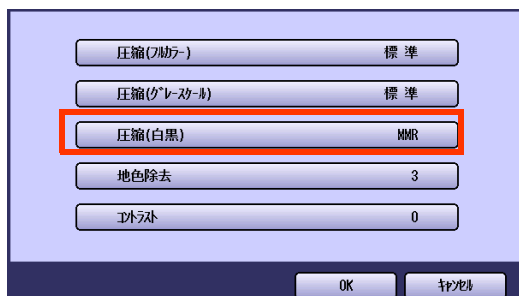
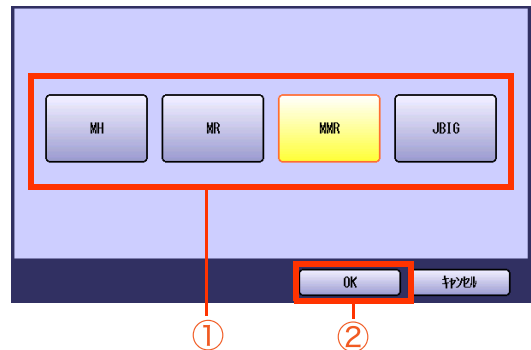
お知らせ

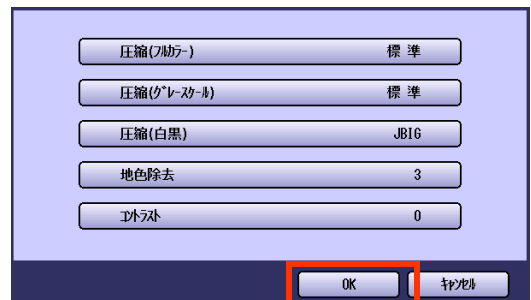
●送信先のコンピューターで使用するアプリケーションによっては、対応できない圧縮形式があります。詳しくは、システム管理者にご相談ください。

1. [画質設定]を押す

● この画面を表示する操作は、「読み取りの設定の流れ」(p.43)の手順1～4を参照してください。

2. [詳細設定]を押す

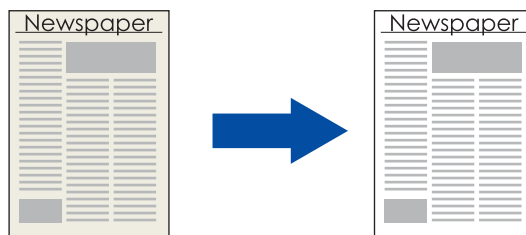
3. [圧縮(白黒)]を押す

4. 圧縮方法を選択し、[OK]を押す

MH	最も低い圧縮率にしたいとき
MR	MHより高い圧縮率にしたいとき
MMR	MRより高い圧縮率にしたいとき
JBIG	最も高い圧縮率にしたいとき

5. [OK]を押す

● 手順2の画面に戻るので、[OK]を押します。

6. <スタート>を押す

読み取ったデータが送信/保存されます。

■ 地色除去 ［地色除去］

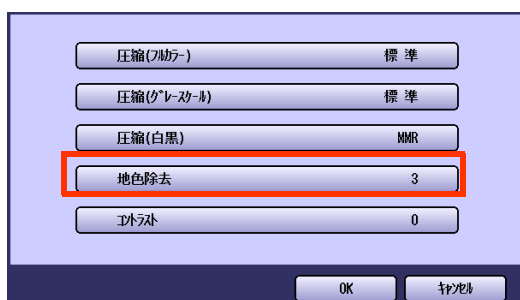
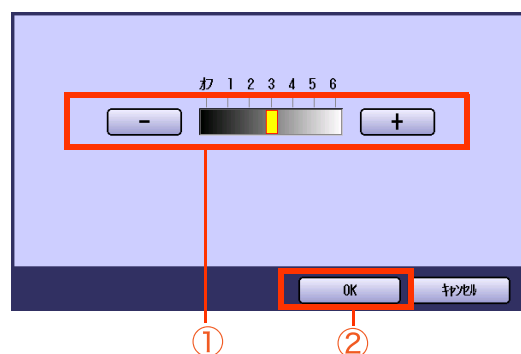
カラー原稿を白黒で読み取るときなどに、原稿の背景色を除去して読み取ることができます。
新聞や背景に色がついている原稿を読み取るときに便利です。

お知らせ

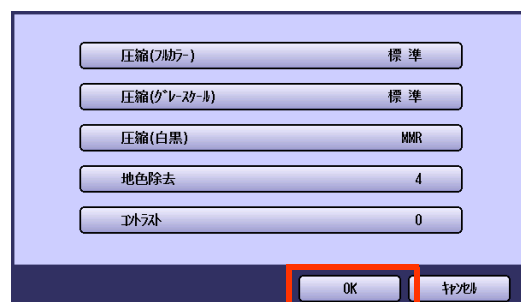
●「原稿種類」で［写真］を選択しているときは、この設定は無効となります。

1. **［画質設定］を押す**

● この画面を表示する操作は、「読み取りの設定の流れ」(p.43)の手順 1 ～ 4 を参照してください。

2. **［詳細設定］を押す**

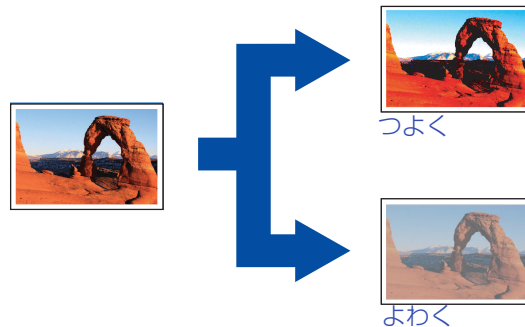
3. **［地色除去］を押す**

4. **［−］、［+］を押して地色除去のレベルを設定し、［OK］を押す**

−	6 つのレベルで設定します。レベル値が高くなるほど、濃い色の背景色を除去できます。
＋	

5. **［OK］を押す**

● 手順 2 の画面に戻るので、［OK］を押します。

6. **<スタート>を押す**

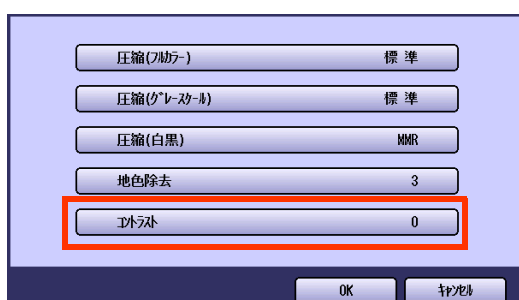
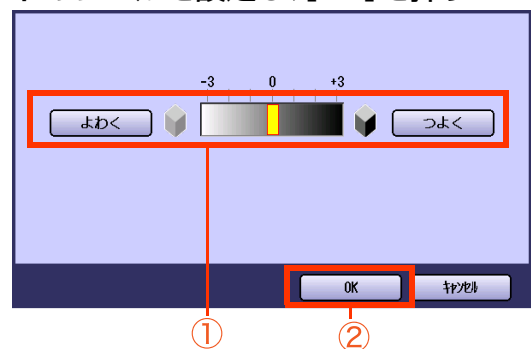
読み取ったデータが送信 / 保存されます。

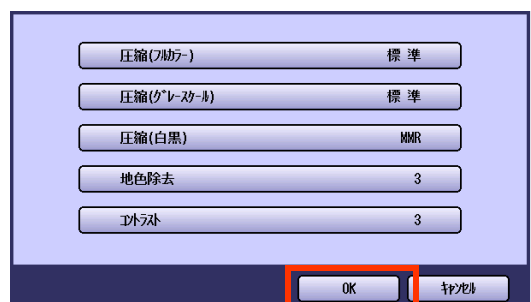
■ コントラスト [コントラスト]

明るい部分と暗い部分の差を調整して読み取ることができます。

1. **[画質設定]を押す**

- この画面を表示する操作は、「読み取りの設定の流れ」(p.43)の手順 1 〜 4 を参照してください。

2. **[詳細設定]を押す**

3. **[コントラスト]を押す**

4. **[よわく]、[つよく]を押してコントラストのレベルを設定し、[OK]を押す**

よわく	明るい部分と暗い部分の差をなくしたいとき
つよく	明るい部分と暗い部分の差をはっきりさせたいとき

5. **[OK]を押す**

- 手順 2 の画面に戻るので、[OK]を押します。

6. **<スタート>を押す**

読み取ったデータが送信 / 保存されます。

ファイルタイプ / ファイル名を設定する[ファイルタイプ / ファイル名]

ファイル形式を選択して読み取ることができます。
また、初期値では、日付がファイル名になりますが、ファイル名を設定して読み取ることもできます。

お知らせ

●ファイルタイプは、初期値を変更できます。変更する操作については、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「5 章　スキャナー機能設定」を参照してください。

●ファイルタイプとファイル名の設定は、次のときに初期値に戻ります。
・電源を OFF にしたとき
・設定の途中で**<ストップ>**、または**<リセット>**を押したとき
・読み取ったデータの送信 / 保存が終了したとき

1. 原稿をセットする

● 原稿のセットについては、「基本的なスキャナー/E メール操作」(p.8)を参照してください。さらに詳しくは、『取扱説明書(基本編)』の「原稿セットのしかた(コピー、スキャナー/Eメールのとき)」を参照してください。

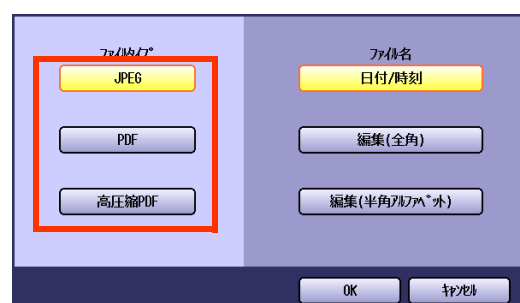
2. <スキャナー/E メール>を押す

3. 読み取ったデータの送信先 / 保存先を設定し、E メール送信時だけ [基本] を押す

● 送信先 / 保存先を設定する操作については、「2 章 送信先 / 保存先を設定する」(p.11)を参照してください。

● E メール送信以外は、送信先 / 保存先を選択すると、数秒後に自動で手順4の画面に変わります。

4. [ファイルタイプ / ファイル名] を押す

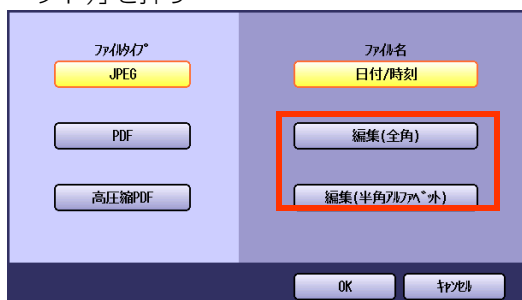
5. ファイルタイプを選択する

JPEG	フルカラー、グレースケール設定時に選択できるファイル形式
PDF	すべてのカラーモードで選択できるファイル形式
高圧縮PDF	PDFを高圧縮したファイル形式(フルカラー、グレースケール設定時のみ)
TIFF	白黒設定時だけ選択できるファイル形式

● [高圧縮 PDF] を選択すると、解像度は自動的に [300dpi] に設定されます。また、原稿種類と地色除去は設定できません。

● [高圧縮 PDF] を選択すると、自動的に [圧縮(フルカラー)] (p.49)、[圧縮(グレースケール)] (p.50) が [速度優先] に設定されます。

● お買い上げ時は、カラーモードで E メール送信する場合(高圧縮PDFを除く)、1 ページ単位で送信される設定になっており、読み取ったデータが複数ページのときは、1 つの宛先に対し、ページ数分のメールが送信されます。
ページをまとめて送信したいときは、ファンクション設定(ファクス/Eメール機能設定>システムの登録)の「183　カラーemail 添付ファイル形式」を [複数ページ] に設定してください。『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「4 章　ファクス /E メール機能設定」を参照してください。ただし、[複数ページ] にすると、データサイズが大きくなりますので、事前に E メール送信できる添付データサイズの制限値をシステム管理者に確認してください。

6. ファイル名を設定するときは、次の操作をする

① [編集(全角)]、または[編集(半角アルファベット)]を押す

- 初期値では、日付がファイル名となります。ファイル名を変更しないときは、[OK]を押して、手順 7 に進んでください。

② ファイル名を入力し、[OK]を押す

❑ **[編集(全角)]を選択したとき**

- 最初に「画像」というファイル名が表示されますが、[後退]を押すと、削除されます。
- 10 文字以内で入力してください。
- SD メモリーカード、または PC カードアダプター内のメモリーカードに保存するときは、半角文字だけ入力できます。

❑ **[編集(半角アルファベット)]を選択したとき**

- 最初に「Image」というファイル名が表示されますが、[後退]を押すと、削除されます。
- 20 文字以内で入力してください。
- SD メモリーカード、または PC カードアダプター内のメモリーカードに保存するときは、最初の 8 文字だけ小文字で表示されます。
- キーボードの使いかたについては、『取扱説明書（基本編）』の「文字入力のしかた」を参照してください。

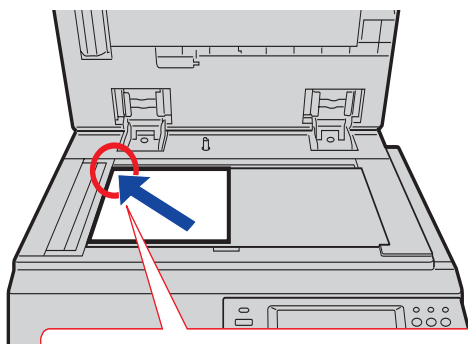
7. <スタート>を押す

読み取り範囲を指定する [原稿サイズ]

非定形サイズの原稿やセットしている原稿とは異なるサイズで読み取るときは、読み取り範囲を指定することができます。

お知らせ

●この機能は、原稿台ガラスに原稿をセットしたときだけ、設定します。

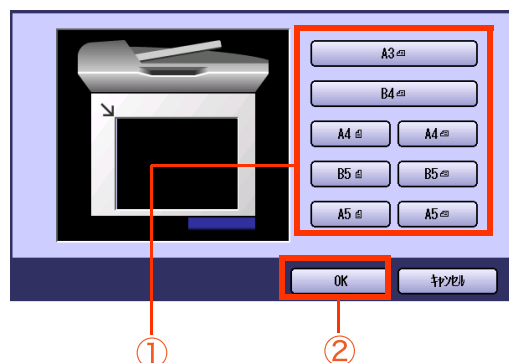
1. 原稿台ガラスに原稿をセットする

- 原稿のセットについては、「基本的なスキャナー/E メール操作」(p.8)を参照してください。さらに詳しくは、『取扱説明書(基本編)』の「原稿セットのしかた(コピー、スキャナー/Eメールのとき)」を参照してください。

2. <スキャナー/E メール>を押す

3. 読み取ったデータの送信先 / 保存先を設定し、E メール送信時だけ [基本] を押す

- 送信先 / 保存先を設定する操作については、「2 章 送信先 / 保存先を設定する」(p.11)を参照してください。
- Eメールで送信するとき以外は、送信先、または保存先を設定すると、数秒後に自動で手順４の画面が表示されます。

4. [原稿サイズ] を押す

5. 読み取る原稿のサイズを選択し、[OK] を押す

6. <スタート>を押す

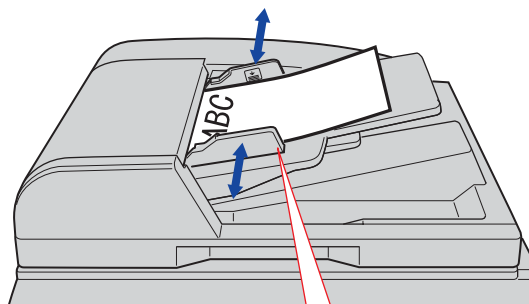
- セットした原稿が最終原稿かどうか確認する画面が表示されます。画面のメッセージにしたがって進めてください。

両面原稿を読み取る [両面原稿]

両面原稿を読み取ることができます。

お知らせ

- [両面原稿]は、とじ位置の初期値を変更できます。変更する操作については、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「5 章　スキャナー機能設定」を参照してください。
- [原稿混載]を設定しているときは、[両面原稿]を設定できません。
- この機能は、ADF に原稿をセットしたときだけ、設定できます。

1. 原稿を ADF にセットする

原稿面を上にしてセットします。
普通紙で 70 枚までセットできます。

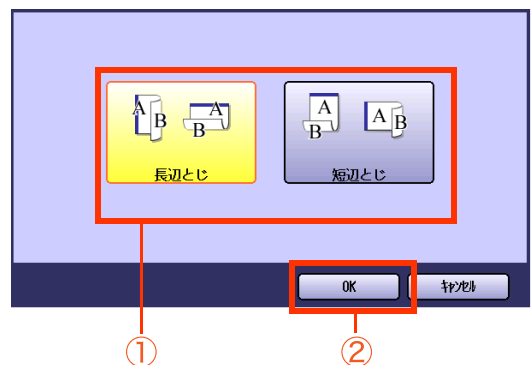
- 原稿のセットについては、「基本的なスキャナー/E メール操作」(p.8)を参照してください。さらに詳しくは、『取扱説明書(基本編)』の「原稿セットのしかた(コピー、スキャナー/Eメールのとき)」を参照してください。

2. <スキャナー/E メール>を押す

3. 読み取ったデータの送信先 / 保存先を設定し、E メール送信時だけ [基本] を押す

- 送信先 / 保存先を設定する操作については、「2 章 送信先 / 保存先を設定する」(p.11)を参照してください。
- Eメールで送信するとき以外は、送信先、または保存先を設定すると、数秒後に自動で手順４の画面が表示されます。

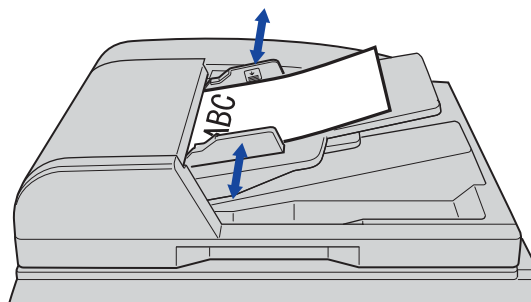
4. [両面原稿] を押す

5. とじ位置を選択して [OK] を押す

長辺とじ	原稿の長辺にとじ位置があるとき
短辺とじ	原稿の短辺にとじ位置があるとき

6. <スタート>を押す

ADF を使って厚さが薄い原稿を読み取る [SADF]

重ねて給紙しにくい薄い原稿(最小50g/㎡)をADFを使って読み取ることができます。

1. 1 枚目の原稿(最小 50 g/m²)を ADF にセットする

- 原稿のセットについては、「基本的なスキャナー/E メール操作」(p.8)を参照してください。さらに詳しくは、『取扱説明書(基本編)』の「原稿セットのしかた(コピー、スキャナー/Eメールのとき)」を参照してください。

2. <スキャナー/E メール>を押す

3. 読み取ったデータの送信先 / 保存先を設定し、E メール送信時だけ [基本] を押す

- 送信先/保存先を設定する操作については、「2 章 送信先/保存先を設定する」(p.11)を参照してください。
- Eメールで送信するとき以外は、送信先、または保存先を設定すると、数秒後に自動で手順4の画面が表示されます。

4. [SADF] を押す

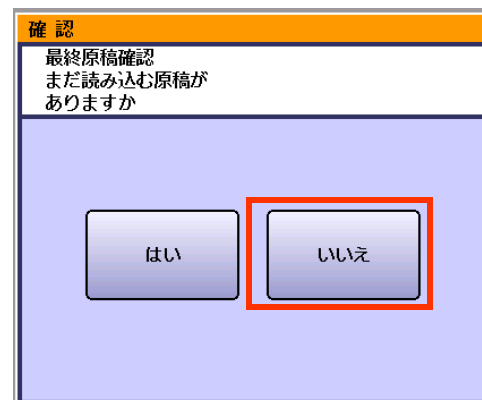
5. <スタート>を押す

6. 最初の原稿の読み取り後、5 秒以内に、次の原稿を ADF にセットする

セットした原稿が読み取られます。

7. 最後の原稿を読み取るまで、手順 6 を繰り返す

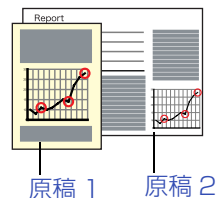
最後の原稿の読み取りが終了し、5 秒経過すると最終原稿かどうかを確認するメッセージが表示されます。

8. [いいえ] を押す

サイズが混在した原稿を読み取る [原稿混載]

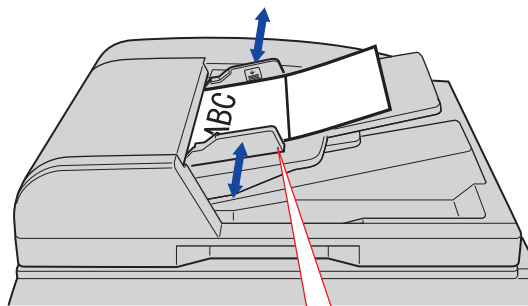
サイズが異なる複数の原稿をまとめて読み取ることができます。

お知らせ

●混在できる原稿サイズの組み合わせは、次のとおりです。

原稿 1	原稿 2
B5	B4
A5	A4
A4	A3

●この機能は、ADF に原稿をセットしたときに設定できます。

●[両面原稿]、または[SADF]を設定しているときは、[原稿混載]を設定できません。

1. サイズが異なる原稿を、幅が同じ辺をそろえて ADF にセットする

原稿面を上にしてセットします。

● 原稿のセットについては、「基本的なスキャナー/E メール操作」(p.8)を参照してください。さらに詳しくは、『取扱説明書(基本編)』の「原稿セットのしかた(コピー、スキャナー/Eメールのとき)」を参照してください。

2. <スキャナー/E メール>を押す

3. 読み取ったデータの送信先 / 保存先を設定し、E メール送信時だけ [基本] を押す

● 送信先 / 保存先を設定する操作については、「2 章 送信先 / 保存先を設定する」(p.11)を参照してください。

● Eメールで送信するとき以外は、送信先、または保存先を設定すると、数秒後に自動で手順 4 の画面が表示されます。

4. [原稿混載] を押す

5. <スタート>を押す

4章
アドレス帳を編集する

この章では、ファンクション設定モードでアドレス帳やイメージボックス名を編集する操作について説明しています。

アドレス帳の編集について

ここでは、次のアドレス帳の編集について、操作の概要と本書の参照先を説明します。

❑ IP アドレス、E メールアドレスの登録、編集について（p.62）
❑ ハードディスク内のイメージボックス名の編集について（p.63）

■IP アドレス、E メールアドレスの登録、編集について

スキャナー/E メールで使うアドレス帳には次の 2 つの種類があり、登録と編集の操作が異なります。

❑ スキャナー/E メールモードで始めに表示されるアドレス帳

- アドレス帳には、次の設定がされたネットワーク上のコンピューターが自動で表示されます。
  - Panasonic コミュニケーション ユーティリティでスキャナーの設定がされている
  - Panasonic コミュニケーション ユーティリティが起動されている（Windows を起動すると自動的に起動）
- アドレス帳のコンピューターは、次のときに、自動で削除されます。
  - コンピューターがネットワーク上からログオフされたとき
  - Panasonic コミュニケーション ユーティリティが終了されたとき
- ファンクション設定モードに IP アドレスを登録する項目がありますが、その項目を設定する必要はありません。

❑ [E メール] を押すと表示されるアドレス帳

- 本機で E メールアドレスやボタン名称などを登録すると、登録したボタン名称が表示されます。次の 2 つの登録方法があります。
  - スキャナー/E メールモードで登録する（p.24）
  - ファンクション設定モードで登録する（p.64）
- お好みに設定するときは、ファンクション設定モードで登録してください。
- お好みに設定された E メールアドレスがあるときは、最初に [お好み] タブが表示されます。
- 登録した E メールアドレスやボタン名称などを編集する操作は、ファンクション設定モードで行います。（p.66）

お知らせ

●アドレス帳に登録されている情報を印刷することができます。操作については、「スキャナーアドレスリストを印刷する」（p.72）を参照してください。

●Panasonicコミュニケーション ユーティリティは、Panasonic Document Management Systemをインストールすると同時にインストールされます。Panasonic Document Management System のインストールと Panasonic コミュニケーション ユーティリティの設定については、『取扱説明書（セットアップ編）』の「Panasonic Document Management System のインストール」と「スキャナーの設定」を参照してください。

■ハードディスク内のイメージボックスの編集について

ハードディスク内には、あらかじめ 12 のイメージボックスが設定されています。
お買い上げ時に設定されている名称は、「＊＊ _Image_Box_ ＊＊」(＊＊:01 ～ 12)です。

- あらかじめ 12 のイメージボックスが設定されています。
- ファンクション設定モードで、イメージボックス名を編集することができます。(p.70)

お知らせ

●読み取ったデータが保存されているイメージボックスは、名前を変更できません。

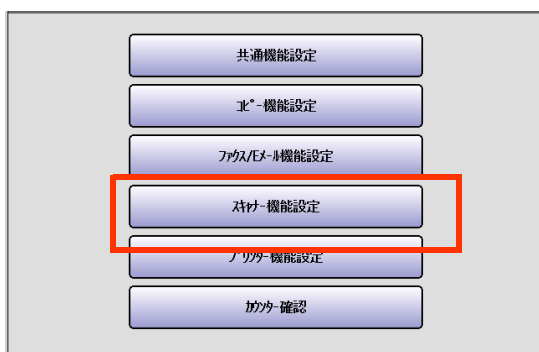
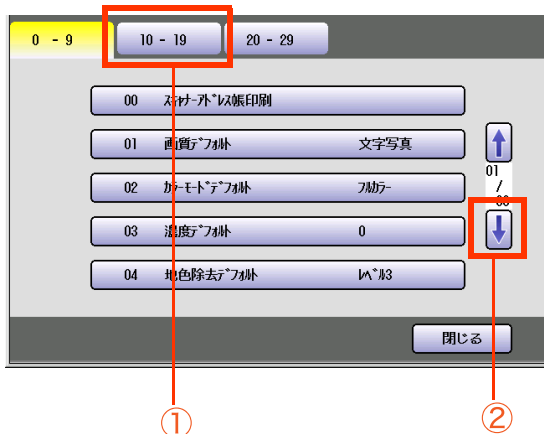
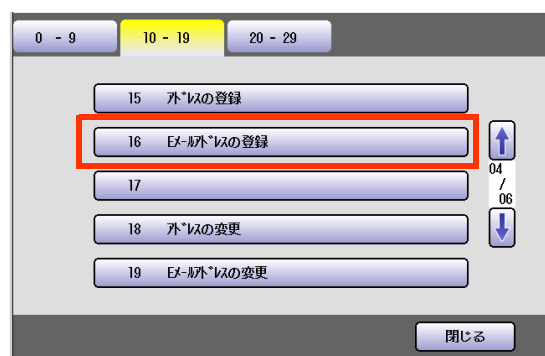
E メールアドレスを登録する

E メールアドレスを登録することができます。ファンクション設定モードで登録すると、E メールアドレスをお好みに設定することができます。

お知らせ

●スキャナー/E メールモードでE メールアドレスをアドレス帳に登録することもできます。操作について詳しくは、「E メールで送信する」(p.14)を参照してください。

1.　<ファンクション>を押す

2.　[スキャナー機能設定]を押す

3.　[10-19]を押し、⬇を使って画面をスクロールする

4.　[16　E メールアドレスの登録]を押す

5.　E メールアドレスを入力し、[OK]を押す

- 半角 60 文字以内で入力してください。
- キーボードの使いかたについては、『取扱説明書(基本編)』の「文字入力のしかた」を参照してください。

6.　宛先名称を入力し、[OK]を押す

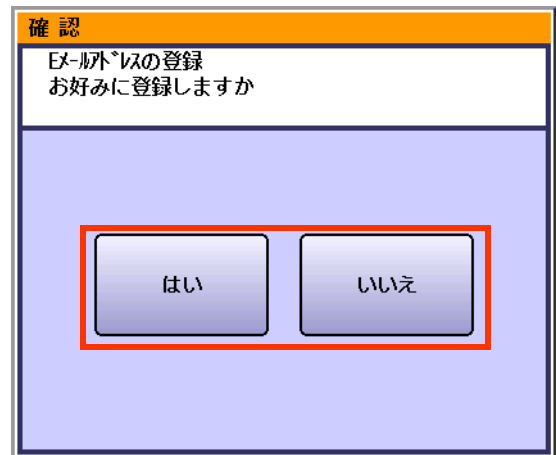
- 宛先名称は、アドレス帳リストなどに印刷されるアドレスを管理するための名称です。
- 全角 20 文字以内で入力してください。

7. ボタン名称を入力し、[OK] を押す

- ボタン名称は、アドレス帳に表示される名称です。
- 全角 10 文字以内で入力してください。

8. 検索文字を入力し、[OK] を押す

- 検索文字は、10文字まで入力できます。ただし、数字は入力できません。
- 検索文字は、アドレス帳で宛先を検索するときに使う文字です。([あ]～[ら / わ] の仕分けにも使われます)。宛先名のフリガナなどをカタカナで入力します。
- 英数字を入力すると、アドレス帳画面の [あ] のタブ内に表示されます。ただし、英数文字は、検索文字としては使用できません。

9. お好みに登録する場合は [はい] を、登録しない場合は、[いいえ] を押す

- お好みに登録すると、[E メール] を押すと表示されるアドレス帳は、最初に [お好み] タブが表示されます。

E メールアドレスが登録されます。

10. 続けて E メールアドレスを登録するときは、手順 5 ～ 9 の操作をする

11. E メールアドレスの登録を終了するときは、<リセット>を押す

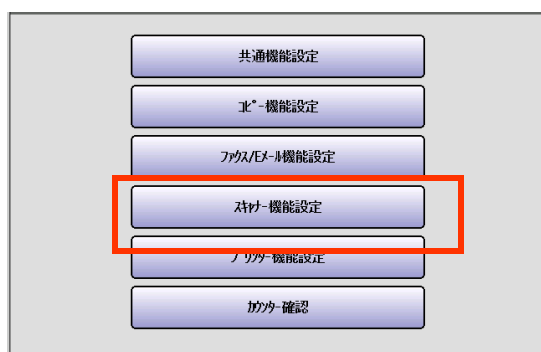
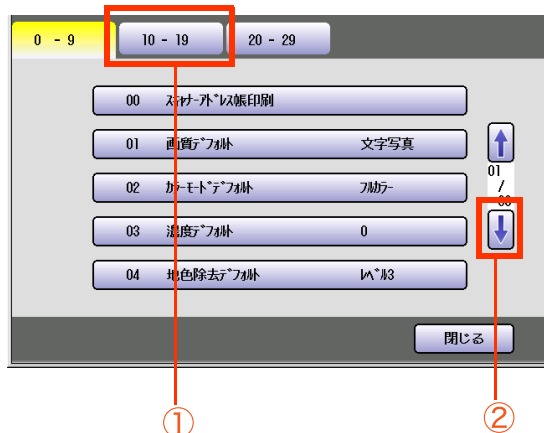
E メールアドレスを編集する

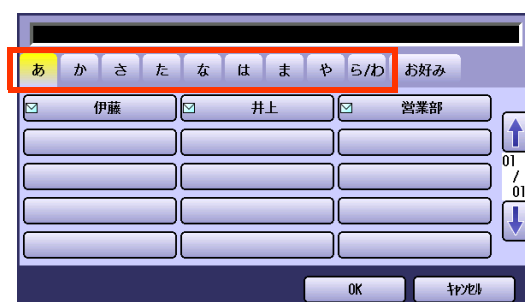
E メールアドレスを編集、削除することができます。

■E メールアドレスを編集する

E メールアドレスを編集することができます。

1. ＜ファンクション＞を押す

2. [スキャナー機能設定] を押す

3. [10-19] を押し、↓を使って画面をスクロールする

4. [19 E メールアドレスの変更] を押す

5. 検索タブ（[あ]～[ら / わ]）を選択する

6. 編集する E メールアドレスのボタン名を選択し、[OK] を押す

7. E メールアドレスを入力し、[OK]を押す

- 半角 60 文字以内で入力してください。
- キーボードの使いかたについては、『取扱説明書(基本編)』の「文字入力のしかた」を参照してください。

8. 新しい宛先名称を入力し、[OK]を押す

例:営業部→営業 2 部

- 宛先名称は、アドレス帳リストなどに印刷されるアドレスを管理するための名称です。
- 全角 20 文字以内で入力してください。

9. 新しいボタン名称を入力し、[OK]を押す

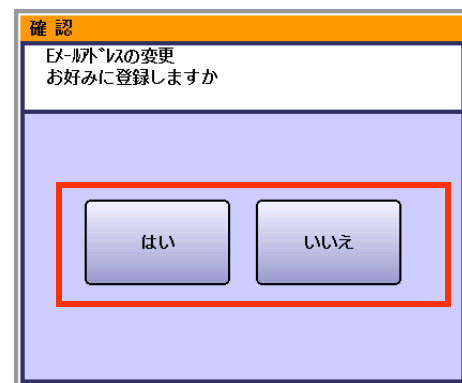
例:営業部→営業 2 部

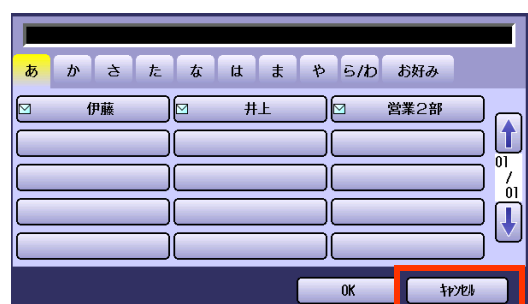
- ボタン名称は、アドレス帳に表示される名称です。
- 全角 10 文字以内で入力してください。

10. 新しい検索文字を入力し、[OK]を押す

例:エイギョウブ→エイギョウニブ

- 検索文字は、10 文字まで入力できます。ただし、数字は入力できません。
- 検索文字は、アドレス帳で宛先を検索するときに使う文字です。([あ]〜[ら / わ]の仕分けにも使われます)。宛先名のフリガナなどをカタカナで入力します。
- 英数字を入力すると、アドレス帳画面の[あ]のタブ内に表示されます。ただし、英数文字は、検索文字としては使用できません。

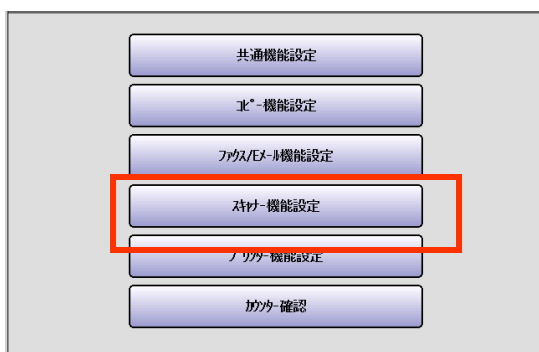
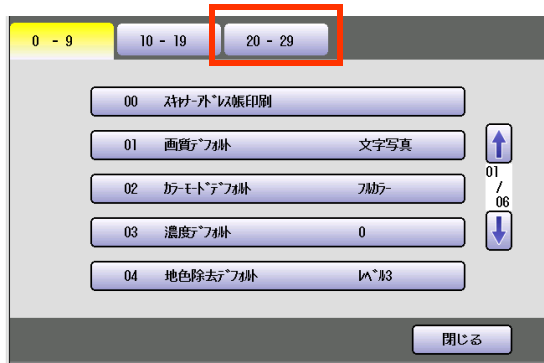
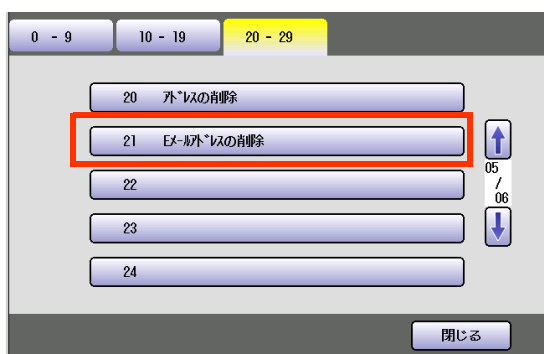
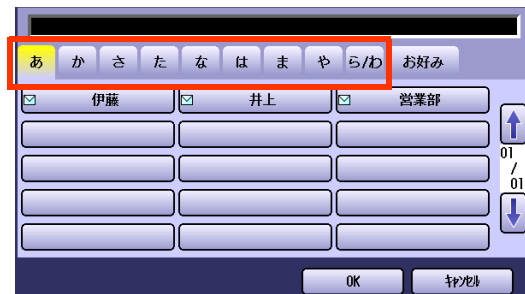
11. お好みに登録する場合は[はい]を、登録しない場合は、[いいえ]を押す

E メールアドレスが変更されます。

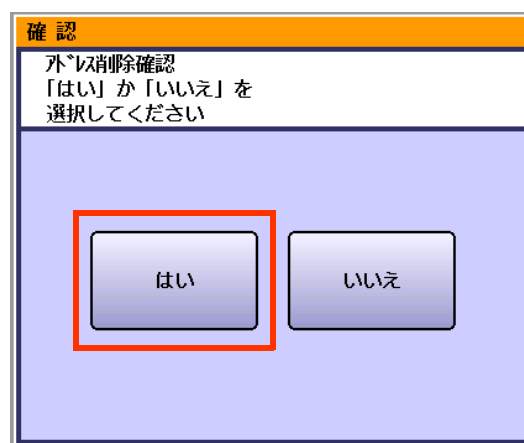
12. [キャンセル]を押す

13. E メールアドレスの編集を終了するときは、<リセット>を押す

■E メールアドレスを削除する

登録されているＥメールアドレスをアドレス帳から削除することができます。

1. ＜ファンクション＞を押す

2. [スキャナー機能設定] を押す

3. [20-29] を押す

4. [21 Ｅメールアドレスの削除] を押す

5. 検索タブ（[あ]～[ら / わ]）を選択する

6. 削除するＥメールアドレスの登録名を選択し、[OK] を押す

7. [はい] を押す

Ｅメールアドレスが削除されます。

8. [キャンセル]を押す

9. E メールアドレスの削除を終了するときは、**＜リセット＞**を押す

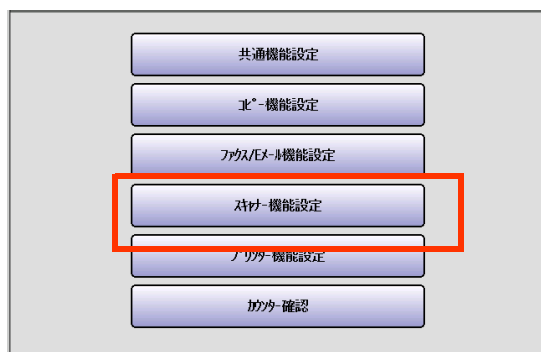
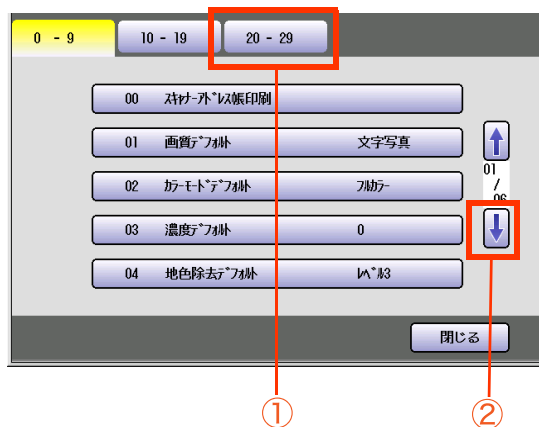
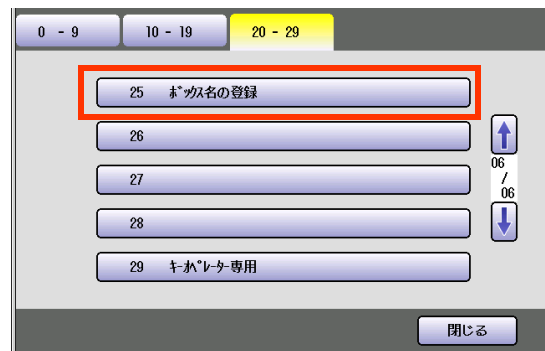
イメージボックス名を編集する

イメージボックス名を編集することができます。

お知らせ

●読み取ったデータが保存されているイメージボックスは、名前の変更ができません。

1. **<ファンクション>を押す**

2. **[スキャナー機能設定]を押す**

3. **[20-29]を押し、を使って画面をスクロールする**

4. **[25 ボックス名の登録]を押す**

5. **名前を編集するイメージボックスを選択する**

6. **イメージボックス名を入力し、[OK]を押す**

最初のキーボード画面

● [半英小モード]を押すとかな漢字入力モードのキーボードに変わります。

漢字入力モードのキーボード画面

● 全角7文字/半角15文字以内で入力してください。
● キーボードの使いかたについては、『取扱説明書(基本編)』の「文字入力のしかた」を参照してください。

7. **イメージボックスのボタン名を入力し、[OK]を押す**

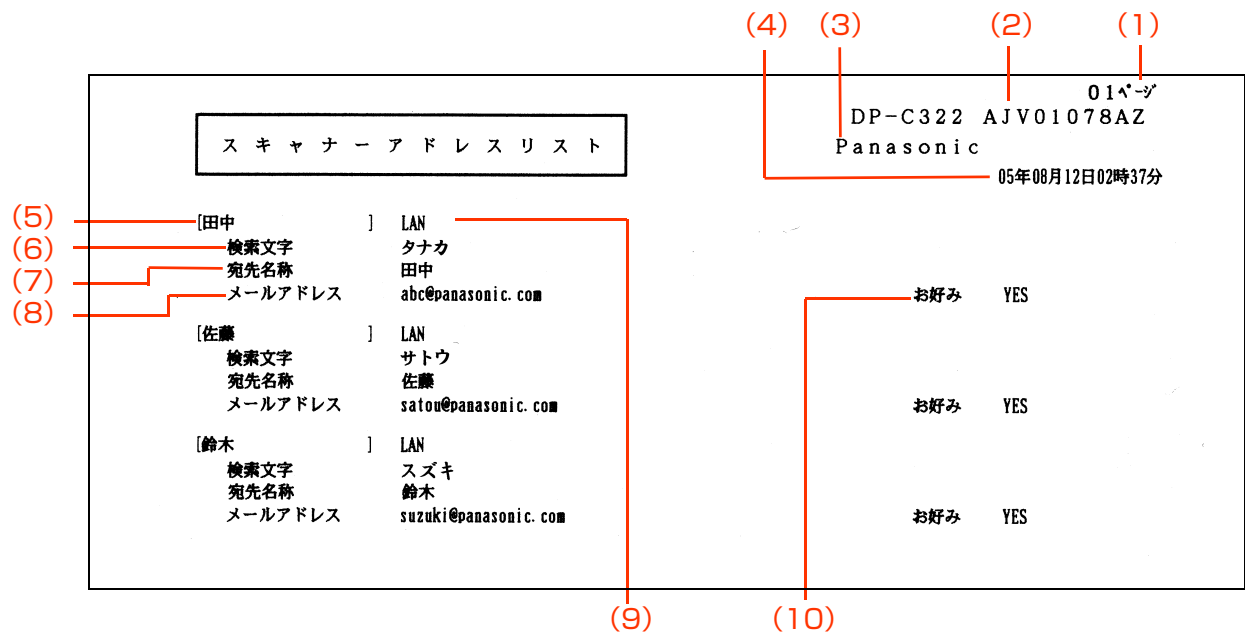
(例:漢字入力モードの場合)

● 全角6文字/半角12文字以内で入力してください。
● ここで入力するイメージボックス名は、読み取ったデータをコンピューターからダウンロードするときにWebブラウザに表示されます。操作については、「読み取ったデータをダウンロードする」(p.36)を参照してください。

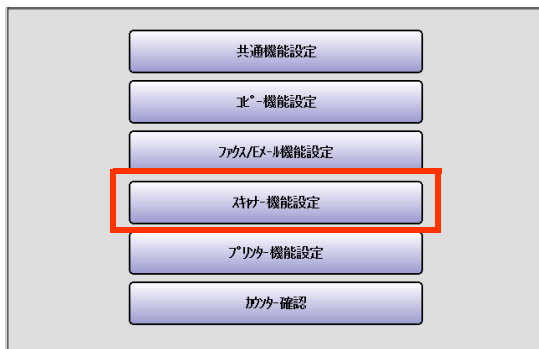
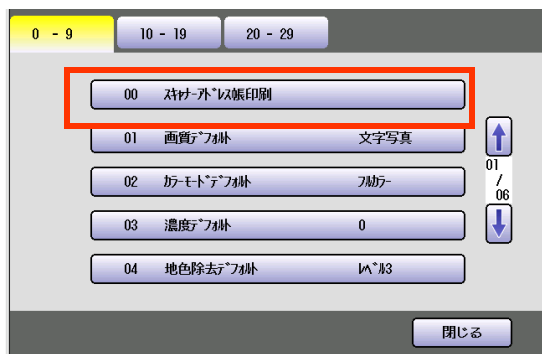
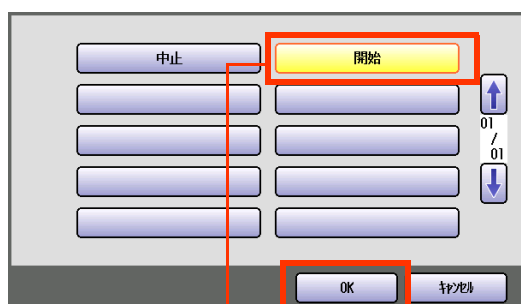
8. **[OK]、または[キャンセル]を押す**

9. **イメージボックス名の編集を終了するときは、<リセット>を押す**

スキャナーアドレスリストを印刷する

スキャナーアドレスリストを印刷することができます。スキャナーアドレスリストには、次の情報が印刷されます。

No.	項目	説明
(1)	ページ番号	スキャナーアドレスリストのページ数です。
(2)	機種名と ROM No.	本機の機種名と ROM No. です。
(3)	発信元	自局の発信元情報が 25 文字まで記載されます。
(4)	印刷した日時	スキャナーアドレスリストを印刷した日時です。
(5)	ボタン名称	登録時に設定したボタン名称です。
(6)	検索文字	登録時に設定した検索文字です。
(7)	宛先名称	登録時に設定した宛先名称です。
(8)	メールアドレス	登録時に設定した E メールアドレスが 60 文字まで記載されます。
(9)	LAN/ インターネット	E メールアドレスのネットワーク環境が記載されます。(LAN/PC)
(10)	お好み	お好みに設定されているときは、YES が記載されます。

1. **<ファンクション>を押す**

2. **[スキャナー機能設定]を押す**

3. **[00　スキャナーアドレス帳印刷]を押す**

4. **[開始]を押し、[OK]を押す**

① ②

スキャナーアドレスリストが印刷されます。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　　月　　日	品番 DP-C262/C262F/C322/C322F
販 売 店 名	電話（　　）　-	
サ ー ビ ス 実施会社名	電話（　　）　-	

パナソニック コミュニケーションズ株式会社
オフィスネットワークカンパニー

〒 153-8687　東京都目黒区下目黒 2-3-8　電話(03)3491-9191

L0505-2105
PJQMC0330YB
October 2005
Published in Japan